13 岩手県立療育センター　　No. 13

(1)岩手県公共施設カルテ(個表:庁舎等用)※個別施設計画策定指針による今後の方向性

1 施設概要

1	施設名称	岩手県立療育センター	策定年月	令和3年3月	最終更新	令和7年12月
2	所在地	紫波郡矢巾町医大通二丁目1番3号	施設類型	県民利用施設	財産区分	行政財産
3	所管課	保健福祉部障がい保健福祉課	運営形態	指定管理	防災施設等指定	非該当
4	都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5	敷地面積	20,576.07 ㎡	建築面積	5,908.03 ㎡	延床面積	12,643.31 ㎡
6	竣工年度 (建築年月)	2017年10月	経過年数 (R7.4.1現在)	7 年	施設内棟数	2 棟
7	設置根拠	有　療育センター条例 (発達障害者支援法第3章第14条により、発達障害者支援センターは法定必置)			年間目標 (病床利用率)	83.3%
8	設置目的	本県の障がい児療育拠点・社会リハビリテーション拠点としての役割を果たし、医療・福祉・教育が一体となったサービスを提供するとともに、県内の障がい児・者及びその家族に対して、福祉施設、医療機関等が連携して支援するための機能・体制を強化する。				
9	施設の概況	医療法に基づく病院、児童福祉法に基づく医療型障害児入所施設、また、障害者総合支援法に基づく障害者支援施設などの機能を備え、身体機能や生活機能訓練等を一体的に行うなど、障がい児療育支援拠点及び社会リハビリテーション拠点としての役割を担っている。				
	類似施設	公共　有　青森県立はまなす医療療育センター、秋田県立医療療育センター、宮城県立拓桃園		民間　無		
10	未利用設備	無		大規模改修　無		

社会目的適合性 ※県民利用施設等のみ	①施設の設置目的	本県の障がい児療育拠点・社会リハビリテーション拠点としての役割を果たし、医療・福祉・教育が一体となったサービスを提供するとともに、県内の障がい児・者及びその家族に対して、福祉施設、医療機関等が連携して支援するための機能・体制を強化する。
	②建物が提供する機能	医療法に基づく病院、児童福祉法に基づく医療型障害児入所施設、また、障害者総合支援法に基づく障害者支援施設などの機能を備え、身体機能や生活機能訓練等を一体的に行うなど、障がい児療育支援拠点及び社会リハビリテーション拠点としての役割を担っている。

部門	機能	定員
入所	肢体不自由児対応病床	30名
	超重症児／準超重症児（者）対応病床	20名
	一般対応病床（在宅重症児（者）病状重篤化対応、NICU後送病床）	10名
	在宅障がい児（者）ショートステイ	短期入所 5名 日中一時支援 3名
診療	・小児科　・整形外科　・児童精神科　・歯科　・神経内科 ・泌尿器科　・眼科　・耳鼻咽喉科　・リハビリテーション科	
在宅支援	児童発達支援・生活介護事業所「かがやき」（在宅の重症心身障がい児（者）への支援）	15名
	児童発達支援センター「つくしんぼ」（就学前の手足や体幹等に障がいのある児への支援）	20名
相談支援	発達障がい者支援センター「ウィズ」（在宅の発達障がい児（者）及び関係機関への支援）	
	障がい児等療育支援事業	
障がい者支援	施設入所支援	30名
	自立訓練（機能訓練）	20名
	自立訓練（生活訓練）	6名
	就労移行支援	6名

	③設置目的の適合性	○ 障がい児療育の中核的機関として、入院・入所や外来の受入体制を充実させるとともに、NICU病床の後方病床として超重症児等の受入ニーズが増加していることから、岩手医科大学附属病院と連携した高度小児医療提供体制の構築に取り組んでいる。 ○ また、障がい者支援部は障がい者の社会復帰のための中核的施設として、県内のリハビリテーション施設等と連携し、主に高次脳機能障害、肢体不自由者を対象に障害者総合支援法に基づく自立訓練及び施設入所支援を実施し、障がい者の地域生活への移行等を目指している。
	④施策上の必要性	超重症児等の受入ニーズの増加や、医療的ケア児支援機能の拡充、聴覚障がい児支援の機能整備等、近年療育センターに期待される役割は増加している。
	⑤建物の必要性	入所・通所等の機能を持つ建物施設と職員体制により機能提供していることから、引き続き施設を維持していくことが必要。
	⑥類似施設への代替可能性	岩手県保健医療計画や岩手県障がい福祉計画・障がい児福祉計画等の関係計画に定める療育センターの役割や機能を果たしていくことが求められており、類似施設への代替は不可。
	⑦今後の方向性	障がい児療育支援拠点及び社会リハビリテーション拠点としての役割を一層果たすため、利用者ニーズの変化や新たなニーズを踏まえ、必要とする医療機能の充実や関係する医療・福祉機関との連携強化を図り、提供する医療・福祉の質の確保と継続可能な経営に努める。
	⑧利用者推移の分析	入所部門の利用者数は増加傾向にある一方、通所等の福祉部門については、矢巾町への移転による家族の送迎負担の増加やコロナ禍の影響もあり、利用者数は減少傾向にある。
	⑨設置目的の達成に向けたKGI	○ 病床利用率をKGIとして設定する(目標値は、岩手県立療育センター運営推進計画より)。 【現状値(R5)】 68.8%(延入院者数:15,125人) 【目標値(R8)】 83.3%(延入院者数:18,250人(現状値より+3,125人))

12	主要棟	名称	障がい児支援棟				現況写真
13		構造	RC造	種目	事務所建		
14		階数	地上	3階建て	地下	0階	
15		建築面積	4,525.52 ㎡	延床面積	10,076.36 ㎡		
16		建築年月日	2017年10月	法定耐用年数	50 年		
17		耐震診断	不要	耐震改修	不要		
18		その他特記事項					

2 利用状況

29	R5利用状況	開館日数	365 日			開館時間		24時間		年間利用者数		41,749 人	
		月別・利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
30			3,548	3,529	3,541	3,598	3,589	3,388	3,647	3,500	3,454	3,388	3,128	3,439
31		（内訳・平日）	3,548	3,529	3,541	3,598	3,589	3,388	3,647	3,500	3,454	3,388	3,128	3,439
32		（内訳・休日）												
33		利用者数内訳・団体	－					利用者数内訳・個人		41,749 人				
34		利用者数の推移（直近5年間）	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		増減率（R5/過去5年平均）	
			44,267人	44,843人		40,538人		38,611人		39,174人		0.6%	
35		施設利用対象者マクロデータ ※20歳未満県内人口	開設当時【A】（H29年10月時点）	202,911人		現　在【B】（R5年10月時点）		169,848人		増減率（マクロデータ）		-16.3%	

36 令和5年度 施設利用者推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所	1,232	1,264	1,225	1,305	1,339	1,266	1,290	1,209	1,253	1,286	1,197	1,259	15,125
短期入所	2	2	0	0	2	4	0	4	0	3	2	0	19
日中一時支援事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外来	1,486	1,431	1,571	1,574	1,532	1,356	1,603	1,625	1,520	1,461	1,343	1,562	18,064
医療型児童発達支援センター	156	186	172	177	150	166	180	166	191	172	158	174	2,048
児童発達支援・生活介護事業所	116	120	136	99	101	133	146	123	126	119	110	122	1,451
障がい者施設入所支援	328	311	250	250	268	258	237	204	206	193	156	176	2,837
自立訓練（機能訓練）	208	193	162	169	174	187	184	160	150	148	148	128	2,011
自立訓練（生活訓練）	20	22	25	24	23	18	7	9	8	6	14	18	194
就労移行支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　計	3,548	3,529	3,541	3,598	3,589	3,388	3,647	3,500	3,454	3,388	3,128	3,439	41,749

3 維持・管理費の状況（改修、大規模修繕などに含まれるものは除く）

（単位：千円）

行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
経常費用	**1,567,366**	**100.0%**	**1,673,655**	**100.0%**	**1,892,660**	**100.0%**
人件費	930,291	59.4%	967,833	57.8%	931,240	49.2%
物件費等	494,302	31.5%	563,039	33.6%	807,148	42.6%
維持修繕費	4,228	0.3%	4,238	0.3%	15,850	0.8%
減価償却費	138,545	8.8%	138,545	8.3%	138,422	7.3%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
28 **支出合計**	**1,567,366**	**100.0%**	**1,673,655**	**100.0%**	**1,892,660**	**100.0%**
経常収益（直接的収入）	**822,198**	**95.9%**	**956,188**	**96.4%**	**911,646**	**100.0%**
使用料・手数料	822,198	95.9%	956,188	96.4%	911,646	100.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時利益（直接的収入）	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
資産売却益		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
補助金等（間接的収入）	**35,014**	**4.1%**	**35,200**	**3.6%**	**0**	**0.0%**
国庫補助金	34,978	4.1%	34,978	3.5%		0.0%
その他	36	0.0%	222	0.0%		0.0%
収入合計	**857,212**	**100.0%**	**991,388**	**100.0%**	**911,646**	**100.0%**
年間コスト	**▲ 710,154**		**▲ 682,267**		**▲ 981,014**	

29	年間利用者数	38,611	人	39,174	人	41,749	人
30	延床面積当たりコスト	56,168	円/㎡	53,963	円/㎡	77,592	円/㎡
31	利用者1人当たりコスト	18,393	円/人	17,416	円/人	23,498	円/人
32	（参考）県民1人当たりコスト	594	円/人	578	円/人	844	円/人
33	有形固定資産減価償却率	9.2	%	11.5	%	13.8	%

（参考）岩手県の人口

（単位：人）

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

34	番号:建物名称		障がい児支援棟				障がい者支援棟				3:廃棄物置き場	
35	構 造 / 種 目		RC造		事務所建		RC造		事務所建			
36	階 数		地上	3 階	地下	0 階	地上	2 階	地下	0 階	地上	地下
37	建築面積		4,525.52 ㎡				1,382.51 ㎡					
38	延床面積		10,076.36 ㎡				2,566.95 ㎡					
39	建築年月		2017年10月		耐用年数	50年	2017年10月		耐用年数	50年		耐用年数
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要			
41	その他特記事項											
42	主な建築・設備	建 築										
		電気設備	受変電:屋内型キュービクル式 発電:ディーゼル、太陽光 警報:自動火災報知設備、非常警報設備				受変電:屋内型キュービクル式 発電:ディーゼル、太陽光 警報:自動火災報知設備、非常警報設備					
		機械設備	給水:加圧送水方式 排水:公共下水道 消火:屋内消火栓、スプリンクラー等				給水:加圧送水方式 排水:公共下水道 消火:屋内消火栓、スプリンクラー等					
43	劣化度調査	建 築										
		電気設備										
		機械設備										
44	定期点検	建 築	R5:外壁に白華、クラックあり、チョーキングあり				R5:外壁に白華、クラックあり、チョーキングあり					
		電気設備										
		機械設備	R5:一部排煙窓開閉不良あり R6:一部防火扉動作不良あり				R5:一部排煙窓開閉不良あり R6:一部防火扉動作不良あり					
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築										
		電気設備										
		機械設備	酸素供給設備改修(R5、8百万円) 医療ガスアウトレット増設(R5、5百万円 中央監視装置自動制御機器修繕(R6、1百万円) 医療情報システム更新(R6、53百万円) モニタリングシステム増設(R6、27百万円)									
46	直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	合計
	国庫											0百万円
	県債								12百万円		79百万円	91百万円
	一般財源								1百万円		1百万円	2百万円
	その他											0百万円
	計		0百万円		0百万円		0百万円		13百万円		80百万円	93百万円

5 施設評価

	1次評価(定量評価)	評価・分析結果
47		
48	ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)
49	ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)

2次評価(定性評価)	評価結果
施策上の必要性	高
代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
54 施設全体の方針	本県の障がい児療育拠点・社会リハビリテーション拠点として設置されたものであり、施設としての継続的に設置する必要性は高い。 経費効率の観点から持続可能な施設とするためには、病床利用率、施設入所支援等の利用状況の改善を進め、収入の確保を進めていく必要がある。			

7 長寿命化等対策の方向性等

56	長寿命化等対策の方向性	日常点検等により施設の劣化状況の把握に努め、適時適切な修繕・改修等を行い、施設の機能を維持する。

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
57	主な維持修繕・改修の内容		○施設改修工事 ○経皮血液ガスモニタ更新 ○介護入浴機器更新(シャワーバス・その1) ○太陽光設備計測表示システム更新	○病室内カメラ設置 ○舗装等補修工事 ○AED更新(4台) ○CE室管理システム更新 ○搬送用人工呼吸器更新	○照明制御装置部品交換 ○介護用入浴機器更新(シャワーバス・その2)	○介護用入浴機器更新(昇降式介護浴槽)	
58	概算費用(見込)	0 百万円	42 百万円	8 百万円	9 百万円	10 百万円	69 百万円
	国庫						0 百万円
	県債		38 百万円	7 百万円	8 百万円	9 百万円	62 百万円
	一般財源		4 百万円	1 百万円	1 百万円	1 百万円	7 百万円
	その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

（2）岩手県公共施設カルテの評価結果を踏まえた今後の保健福祉部の検討の方向性

岩手県公共施設カルテの評価結果においては、現状維持という結果であり、現に障がい児者の入所、通所、外来通院等の利用があることから、第２期岩手県公共施設等総合計画期間中においては、利用者の安全性を確保するために、建物の根幹をなす必要最低限の改修・補修工事について県が対応を行っていく。

14 和光学園　　No. 14

(1)岩手県公共施設カルテ(個表:庁舎等用)※個別施設計画策定指針による今後の方向性

1 施設概要

1	施設名称	和光学園	策定年月	令和3年3月	最終更新	令和7年12月
2	所在地	盛岡市青山一丁目25番2	施設類型	県民利用施設	財産区分	普通財産
3	所管課	保健福祉部子ども子育て支援室	運営形態	その他	防災施設等指定	非該当
4	都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	第一種住居地域
5	敷地面積	8,306.93 ㎡	建築面積	1,677.09 ㎡	延床面積	1,808.33 ㎡
6	竣工年度(建築年月)	2004年3月	経過年数(R7.4.1現在)	21 年	施設内棟数	4 棟
7	設置根拠	有　児童福祉法			年間目標利用者数	
8	設置目的	保護者のない児童(乳児を除く。ただし、安定した生活環境の確保その他の理由により特に必要のある場合には、乳児を含む。)、虐待されている児童その他環境上養護を要する児童を入所させて、これを養護し、あわせて退所した者に対する相談その他の自立のための援助を行うこと。				
9	施設の概況	昭和26年に県内で2番目の児童養護施設として開所。昭和45年に現在地に移転し、平成16年(2004年)に全面改築。昭和47年から社会福祉法人岩手県社会福祉事業団(昭和46年に県立社会福祉施設の受託運営を行うことを目的に、県の全額出資により設立された団体。以下「事業団」という。)に運営委託。平成18年に一般公募により県から業務移管を受け運営。 土地及び建物は県から貸付しており、「100万円以上の経費を要する規模の修繕及び備品の更新等については、必要性及び緊急性等を検討の上、原則として県において措置する」としていることから、県が大規模施設整備計画により随時改修等の対応をしている。				
	類似施設	公共　無		民間	有	県内の他児童養護施設(5箇所)
10	未利用設備	無		大規模改修	有	大規模施設整備計画に基づく修繕等

社会目的適合性 ※県民利用施設等のみ	①施設の設置目的	保護者のない児童(乳児を除く。ただし、安定した生活環境の確保その他の理由により特に必要のある場合には、乳児を含む。)、虐待されている児童その他環境上養護を要する児童を入所させて、これを養護し、あわせて退所した者に対する相談その他の自立のための援助を行うこと。
	②建物が提供する機能	上記社会的養育を必要とする児童の生活の場
	③設置目的の適合性	県内の児童養護施設のうちの一つとして、「社会的養護を要する児童を入所させて養護し、自立のための援助を行っていく」意義を従前から果たしており、適合していると認められる。
	④施策上の必要性	社会的養育を必要とする児童の受け皿を県内に確保するため、必要な施設である。
	⑤建物の必要性	・児童が24時間生活する場であり、居室を備える生活空間として建物が必要である。 ・事業団に譲渡するまでの間、施設の修繕、改修等を行いながら維持していく必要がある。
	⑥類似施設への代替可能性	県内の他児童養護施設はあるが、児童相談所からの措置児童の受け皿として全施設が重要な役割を果たしており、今後の利用ニーズも見込まれることから、代替可能性は無い。
	⑦今後の方向性	事業団への貸付期間中は、原則として大規模改修、改築費用は県が負担することとしており、譲渡するまでの間は、県で施設の修繕、改修等を行っていく。 (社会的養育を必要とする児童の県内の受け皿の1つとして維持を図っていくもの。)
	⑧利用者推移の分析	現在の利用状況、人口動態等から、利用者数は減少傾向で推移していくものと見込まれる。
	⑨設置目的の達成に向けたKGI	児童養護施設については、社会的養育の観点から設置が必要なものであり、KGIの設定はなじまない。

12	主要棟	名称	居住棟			
13		構造	RC造	種目	住宅建	
14		階数	地上 2階	地下	-	
15		建築面積	1,170.26 ㎡	延床面積	1,337.60 ㎡	
16		建築年月日	2004年3月	法定耐用年数	50 年	
17		耐震診断	不要	耐震改修	不要	
18		その他特記事項				

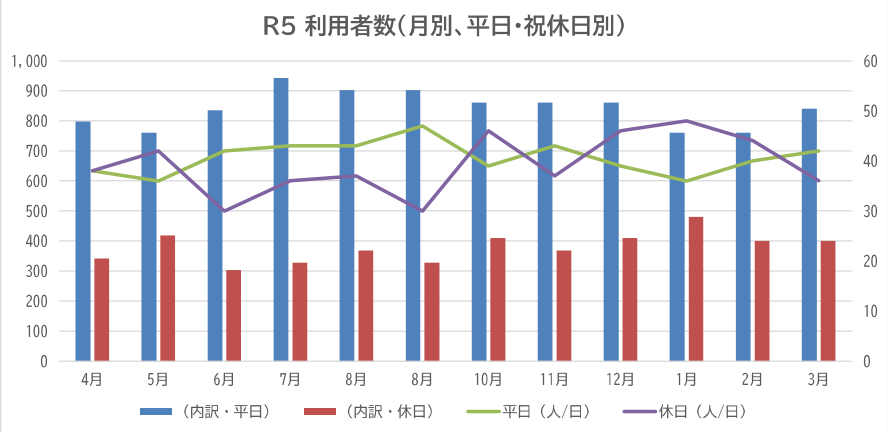
現況写真

(居住棟)

2 利用状況

29	R5利用状況	開館日数	366日			開館時間		24時間		年間利用者数		14,642 人	
		月別・利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
30			1,140	1,178	1,140	1,271	1,271	1,230	1,271	1,230	1,271	1,240	1,160	1,240
31		(内訳・平日)	798	760	836	943	902	902	861	861	861	760	760	840
32		(内訳・休日)	342	418	304	328	369	328	410	369	410	480	400	400
33		利用者数内訳・団体	なし					利用者数内訳・個人		14,642 人				
		利用者数の推移(直近5年間)	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		増減率(R5/過去5年平均)	
34			16,030人		15,695人		14,368人		13,473人		14,264人		▲ 0.8%	
35		施設利用対象者マクロデータ ※定員	開設当時【A】(S26年3月時点)		30人		現 在【B】(R6年4月時点)		44人		増減率(マクロデータ)		46.7%	

36 令和5年度 施設利用者推移



3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

	行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
	経常費用	**245,793**	**100.0%**	**254,908**	**100.0%**	**313,538**	**100.0%**
	人件費	853	0.3%	1,055	0.4%	1,307	0.4%
	物件費等	231,846	94.3%	240,759	94.4%	249,601	79.6%
	維持修繕費		0.0%		0.0%	49,536	15.8%
	減価償却費	13,094	5.3%	13,094	5.1%	13,094	4.2%
	支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
	臨時損失	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
	災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
	その他		0.0%		0.0%		0.0%
28	**支出合計**	**245,793**	**100.0%**	**254,908**	**100.0%**	**313,538**	**100.0%**
	経常収益(直接的収入)	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
	使用料・手数料		0.0%		0.0%		0.0%
	その他		0.0%		0.0%		0.0%
	臨時利益(直接的収入)	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**	**0**	**0.0%**
	資産売却益		0.0%		0.0%		0.0%
	その他		0.0%		0.0%		0.0%
	補助金等(間接的収入)	**115,359**	**100.0%**	**119,786**	**100.0%**	**124,230**	**100.0%**
	国庫補助金	115,359	100.0%	119,786	100.0%	124,230	100.0%
	その他		0.0%		0.0%		0.0%
	収入合計	**115,359**	**100.0%**	**119,786**	**100.0%**	**124,230**	**100.0%**
	年間コスト	▲ 130,434		▲ 135,122		▲ 189,308	

29	年間利用者数	13,473	人	14,264	人	14,642	人
30	延床面積当たりコスト	72,130	円/㎡	74,722	円/㎡	104,687	円/㎡
31	利用者1人当たりコスト	9,681	円/人	9,473	円/人	12,929	円/人
32	(参考)県民1人当たりコスト	109	円/人	114	円/人	163	円/人
33	有形固定資産減価償却率	55.1	%	57.8	%	60.5	%

(参考)岩手県の人口 (単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

34	番号:建物名称		居住棟				体育館棟					
35	構 造 / 種 目		RC造		事務所建		W造		事務所建			
36	階 数		地上	2階	地下	-	地上	1階	地下	-	地上	地下
37	建築面積		1,170.26 ㎡				244.32 ㎡					
38	延床面積		1,337.60 ㎡				231.00 ㎡					
39	建築年月		2004年3月		耐用年数	50年	2004年3月		耐用年数	24年		耐用年数
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要			
41	その他特記事項											
42	主な建築・設備	建 築	屋根金属仕上、シート防水 外壁コンクリート打放				屋根金属仕上					
		電気設備	受変電キュービクル 電話交換機(PBX)設備 拡声設備(構内放送設備) 監視カメラ設備				非常ベル警報設備 電話交換機(電子交換機)設備					
		機械設備	電気式マルチエアコン 中央監視制御装置				ルームエアコン					
43	劣化度調査	建 築	・外壁に亀裂があり、雨漏りのある居室が ・屋根防水シートに穴が複数箇所ある。 ・敷地内に、地盤沈下箇所が複数ある。									
		電気設備	・使用中の電話機で不調の機器があり、 電話機交換を依頼したが、現在の交換機 対応する電話機が無いとのことであった									
		機械設備	・給水配管に漏水があり、配管が地上に むき出しになっている。									
44	定期点検	建 築	・建築設備定期点検(毎年) ・建築物定期点検(3年毎)				・建築設備定期点検(毎年) ・建築物定期点検(3年毎)					
		電気設備	・自家用電気工作物(毎月) ・消防用設備点検(年2回)				・消防用設備点検(年2回)					
		機械設備	・空調設備点検(年1回)				・空調設備点検(年1回)					
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築										
		電気設備	空調設備改修工事(R5)【10】									
		機械設備	空調設備改修工事(R5)【40】 ボイラー更新工事(R6)【13】									

46	直近5年の維持修繕・改修費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫						0百万円
	県債			1百万円	40百万円		41百万円
	一般財源			1百万円	10百万円		11百万円
	その他					13百万円	13百万円
	計	0百万円	0百万円	2百万円	50百万円	13百万円	65百万円

5 施設評価

	1次評価(定量評価)	評価・分析結果
47		
48	ソフト(利用状況×経費効率)	廃止
49	ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)

2次評価(定性評価)	評価結果
施策上の必要性	高
代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

54	施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	売却・移管
		児童養護施設の設置自体は任意であるものの、児童福祉法に基づき県に6か所ある児童養護施設の一つとして、社会的養育が必要なこどもの受け皿となっており、本県における社会的養育施策として必要性が認められるもの。 現在、運営は岩手県社会福祉事業団が担っており、今後、施設自体の移管等について検討していく必要がある。岩手県社会福祉事業団へ貸付期間中は、原則として大規模改修は県が負担することとしており、譲渡するまでの間は、県で施設の修繕、改修等を行っていく。		

7 長寿命化等対策の方向性等

56	長寿命化等対策の方向性	・社会福祉法人(岩手県社会福祉事業団)への貸付期間中は、建物性能・劣化度などの老朽化の状況や利用状況などを総合的に勘案のうえ、計画的に長寿命化を実施する。 ・計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
57	主な維持修繕・改修の内容	トイレ洋式化改修工事	屋根防水改修工事	防火扉改修工事(事業費未定)	外壁補修工事(事業費未定)		
58	概算費用(見込)	2 百万円	16 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	18 百万円
	国庫						0 百万円
	県債	1 百万円	12 百万円				13 百万円
	一般財源	1 百万円	4 百万円				5 百万円
	その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

(2)岩手県公共施設カルテの評価結果を踏まえた今後の保健福祉部の検討の方向性

社会福祉法人岩手県社会福祉事業団へ貸付期間中は、原則として大規模改修は県が負担することとしており、譲渡するまでの間は、県で施設の修繕、改修等を行っていく。現在、運営は岩手県社会福祉事業団が担っており、今後、施設自体の移管等について検討していく必要がある。

15 松風園　　No. 15

(1)岩手県公共施設カルテ(個表:庁舎等用)※個別施設計画策定指針による今後の方向性

1 施設概要

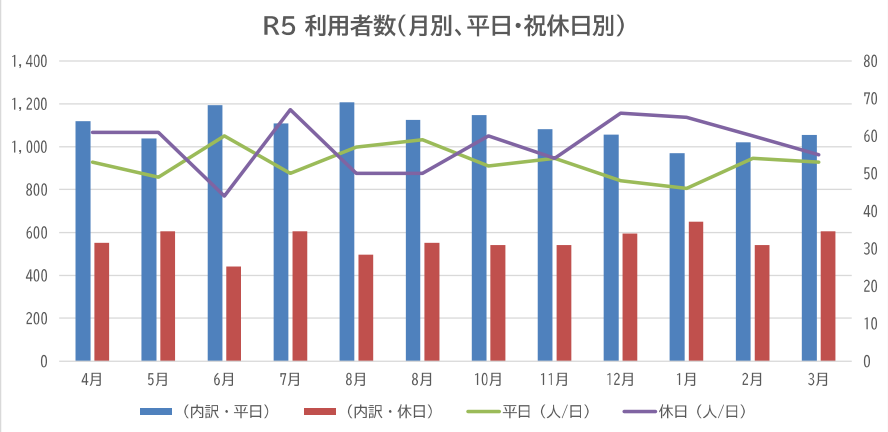
1	施設名称	松風園	策定年月	令和3年3月	最終更新	令和7年12月
2	所在地	花巻市石鳥谷町中寺林7地割46番地3	施設類型	県民利用施設	財産区分	普通財産
3	所管課	保健福祉部障がい保健福祉課	運営形態	その他	防災施設等指定	非該当
4	都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
5	敷地面積	26,175.03 ㎡	建築面積	2,717.26 ㎡	延床面積	2,515.18 ㎡
6	竣工年度 (建築年月)	1990年9月	経過年数 (R7.4.1現在)	34 年	施設内棟数	2 棟
7	設置根拠	有	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(抜粋) 第83条第2項　都道府県は、障害者支援施設を設置することができる。		年間目標利用者数	
8	設置目的	障害者総合支援法に基づく障害者支援施設として、施設入所支援、生活介護、就労移行支援等の障害福祉サービスを提供しており、障がい者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者の障がいの特性や意向などに配慮しつつ、介護その他の日常生活上の支援や、自立に向けた訓練、就労に向けた支援等を行うことを目的とした施設である。				
9	施設の概況	・昭和40年に県内最初の知的障害者更生施設として開設。平成3年の全面改築に伴い救護施設「好地荘」と併設。平成19年からは障害者支援施設として開所。 ・昭和51年から社会福祉法人岩手県社会福祉事業団(昭和46年に県立社会福祉施設の受託運営を行うことを目的に、県の全額出資により設立された団体。以下「事業団」という。)に運営を委託していたが、平成18年に県から当事業団に運営を移管した。 ・土地及び建物・設備等は県が貸し付けており、建物・設備等の改修や大規模修繕は県が行うこととしている。				
	類似施設	公共	有	みたけの杜、てしろもりの丘等(障害者支援施設)	民間	有	障害者支援施設
10	未利用設備	有	農場、農作業棟等		大規模改修	無	

社会目的適合性 ※県民利用施設等のみ	①施設の設置目的	障害者総合支援法に基づく障害者支援施設として、施設入所支援、生活介護、就労移行支援等の障害福祉サービスを提供しており、障がい者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者の障がいの特性や意向などに配慮しつつ、介護その他の日常生活上の支援や、自立に向けた訓練、就労に向けた支援等を行うことを目的とした施設である。
	②建物が提供する機能	障がい者に対して、食事や入浴の介護など、日常生活上の支援を提供している。
	③設置目的の適合性	障害者総合支援法に基づいて、施設入所支援、生活介護、就労移行支援等の障害福祉サービスを提供しており、設置目的に適合している。
	④施策上の必要性	利用者数は現在と同程度で推移していくものと見込まれ、機能を維持していく必要がある。
	⑤建物の必要性	事業団に譲渡するまでの間、県において施設の修繕、改修等を行いながら維持していく必要がある。
	⑥類似施設への代替可能性	みたけの杜、てしろもりの丘等の類似施設はあるが、各施設ともに定員を満たしており、今後の利用ニーズも見込まれることから、代替の可能性は低い。
	⑦今後の方向性	岩手県社会福祉事業団への貸付期間中は、原則として大規模改修は県が負担することとしており、譲渡するまでの間は、県で施設の修繕、改修等を行っていく。 なお、建物設備等の譲渡に向けては、平成17年3月に策定した「県立社会福祉施設改革プラン」において、「基本的には民間で運営が可能な施設は民間に移管し、その活力と創意工夫のもと、利用者個々の状況に応じて必要なサービスをより柔軟で迅速に提供できる施設運営を目指す」とされていることから、譲渡の方向性についての検討を行っていく。
	⑧利用者推移の分析	現在の利用状況、人口動態等から、利用者数は現在と同程度で推移していくものと見込まれる。
	⑨設置目的の達成に向けたKGI	

12	主要棟	名称	松風園棟			現況写真
13		構造	RC造	種目	事務所建	
14		階数	地上 1階	地下	0階	
15		建築面積	2,117.26 ㎡	延床面積	1,845.52 ㎡	
16		建築年月日	1990年9月	法定耐用年数	50 年	
17		耐震診断	不要	耐震改修	不要	
18		その他特記事項				

2 利用状況

29	R5利用状況	開館日数	365日			開館時間		24時間		年間利用者数		19,847 人	
		月別・利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
30			1,669	1,645	1,635	1,714	1,702	1,677	1,688	1,623	1,651	1,620	1,562	1,661
31		(内訳・平日)	1,118	1,039	1,194	1,108	1,206	1,125	1,147	1,082	1,056	970	1,021	1,055
32		(内訳・休日)	551	606	441	606	496	552	541	541	595	650	541	606
33		利用者数内訳・団体	なし					利用者数内訳・個人		19,847 人				
		利用者数の推移(直近5年間)	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		増減率(R5/過去5年平均)	
34			19,455人		19,117人		19,242人		19,437人		19,508人		2.6%	
35		施設利用対象者マクロデータ ※県内療育手帳(A)所持者数	当時【A】(S59年度末時点)		1,467人		現 在【B】(R4年度末時点)		4,181人		増減率(マクロデータ)		185.0%	
36	令和5年度施設利用者推移													



3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

	行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
	経常費用	33,166	100.0%	20,365	100.0%	16,337	100.0%
	人件費		0.0%		0.0%		0.0%
	物件費等	20,942	63.1%	8,141	40.0%	4,113	25.2%
	維持修繕費		0.0%		0.0%		0.0%
	減価償却費	12,224	36.9%	12,224	60.0%	12,224	74.8%
	支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
	臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
	その他		0.0%		0.0%		0.0%
28	支出合計	33,166	100.0%	20,365	100.0%	16,337	100.0%
	経常収益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
	使用料・手数料		-		-		-
	その他		-		-		-
	臨時利益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
	資産売却益		-		-		-
	その他		-		-		-
	補助金等(間接的収入)	0	-	0	-	0	-
	国庫補助金		-		-		-
	その他		-		-		-
	収入合計	0	-	0	-	0	-
	年間コスト	▲ 33,166		▲ 20,365		▲ 16,337	

29	年間利用者数	19,437	人	19,508	人	19,847	人
30	延床面積当たりコスト	13,186	円/㎡	8,097	円/㎡	6,495	円/㎡
31	利用者1人当たりコスト	1,706	円/人	1,044	円/人	823	円/人
32	(参考)県民1人当たりコスト	28	円/人	17	円/人	14	円/人
33	有形固定資産減価償却率	75.4	%	77.3	%	79.2	%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

34	番号:建物名称		1:松風園棟				2:体育館					
35	構 造 / 種 目		RC造		事務所建		S造		事務所建			
36	階 数		地上	1 階	地下	-	地上	1 階	地下	-	地上	地下
37	建築面積		2,117.26 ㎡				600.00 ㎡					
38	延床面積		1,845.52 ㎡				669.66 ㎡					
39	建築年月		1990年9月		耐用年数	50年	1990年9月		耐用年数	38年		耐用年数
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要			
41	その他特記事項											
42	主な建築・設備	建 築										
		電気設備	受変電:屋内型キュービクル式									
			発電:屋内型ディーゼル									
			警報:自動火災報知設備									
			構内交換:電子交換機									
		機械設備	給水:加圧送水方式・公共水道				給水:加圧送水方式・公共水道					
			排水:公共下水道				排水:公共下水道					
			給湯:中央式(ボイラー)									
			消火:屋内消火栓、粉末消火									
43	劣化度調査	建 築										
		電気設備										
		機械設備										
44	定期点検	建 築										
		電気設備										
		機械設備										
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築										
		電気設備	非常用放送設備更新【8】(好地荘と折ヶ				非常用放送設備更新【8】(好地荘と折ヶ					
		機械設備										

46	直近5年の維持修繕・改修費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫				5百万円		5百万円
	県債						0百万円
	一般財源				3百万円		3百万円
	その他						0百万円
	計	0百万円	0百万円	0百万円	8百万円	0百万円	8百万円

5 施設評価

	1次評価(定量評価)	評価・分析結果
47	ソフト(利用状況×経費効率)	現状維持
48	ソフト×ハード(建物性能)	現状維持

2次評価(定性評価)	評価結果
施策上の必要性	高
代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

54	施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	売却・移管
		現在、運営は県社会福祉事業団が担っており、今後、施設自体の移管についても検討していく必要がある。岩手県社会福祉事業団への貸付期間中は、原則として大規模改修は県が負担することとしており、譲渡するまでの間は、県で施設の修繕、改修等を行っていく。			

7 長寿命化等対策の方向性等

56	長寿命化等対策の方向性	・岩手県社会福祉事業団への貸付期間中は、建物性能・劣化度などの老朽化の状況や利用状況などを総合的に勘案のうえ、計画的に長寿命化を実施する。 ・計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
57	主な維持修繕・改修の内容	真空式温水器交換					
58	概算費用(見込)	5 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	5 百万円
	国庫						0 百万円
	県債	4 百万円					4 百万円
	一般財源	1 百万円					1 百万円
	その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

（2）岩手県公共施設カルテの評価結果を踏まえた今後の保健福祉部の検討の方向性

岩手県社会福祉事業団への貸付期間中は、原則として大規模改修は県が負担することとしており、譲渡するまでの間は、県で施設の修繕、改修等を行っていく。

現在、運営は県社会福祉事業団が担っており、今後、施設自体の移管についても検討していく必要がある。

16　中山の園　　No.　16

(1)岩手県公共施設カルテ(個表:庁舎等用)※個別施設計画策定指針による今後の方向性

1　施設概要

1	施設名称	中山の園	策定年月	令和3年3月	最終更新	令和7年12月
2	所在地	二戸郡一戸町中山字軽井沢139番地1	施設類型	県民利用施設	財産区分	普通財産
3	所管課	保健福祉部障がい保健福祉課	運営形態	その他	防災施設等指定	非該当
4	都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5	敷地面積	395,496.54㎡	建築面積	15,934.91 ㎡	延床面積	20,021.00 ㎡
6	竣工年度 (建築年月)	1978年12月	経過年数 (R7.4.1現在)	46 年	施設内棟数	21 棟
7	設置根拠	有　障害者総合支援法第83条第2項			年間目標利用者数	設定なし
8	設置目的	岩手県社会福祉事業団が設置する、常時介護を要する障害者に対する、昼夜を通じて入浴、排せつ又は食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供を行う生活介護などの施設障害福祉サービスを行う障害者支援施設に県が所有する建物を供し、維持管理の一部を行うもの。				
9	施設の概況	○岩手県では、昭和40年代から50年代の前半にかけて、精神薄弱者(当時の法律上の呼称で、現在は知的障がい者)援護施設の整備を進めてきたが、依然として入所希望者に対応できない実状にあったことから、「コロニー建設基本計画」を策定のうえ、県立の精神薄弱者総合援護施設(コロニー)を整備していくこととした。 ○中山の園は、昭和54年に精神薄弱者総合援護施設として、重度棟(西岳寮)が開設されて以来、建設基本計画に基づき、昭和58年までに、定員300人(重度200人、一般50人、授産50人)の施設として整備された。 ○中山の園の基本方針として、入所者の能力の程度、社会適応性に対応した指導訓練を実施し、入所者の社会復帰を図るとともに、一般社会に適応することが困難な方に対しては、長期にわたり施設の中で社会生活が営める機能を担うものとし、開設当初から、県内各地の入所ニーズに対応してきたところである。				
	類似施設	公共　有　みたけの杜、てしろもりの丘等(障害者支援施設)	民間	有	元気丸、太田の園等	
10	未利用設備	有　6号棟、7号棟を除く職員宿舎	大規模改修	無		

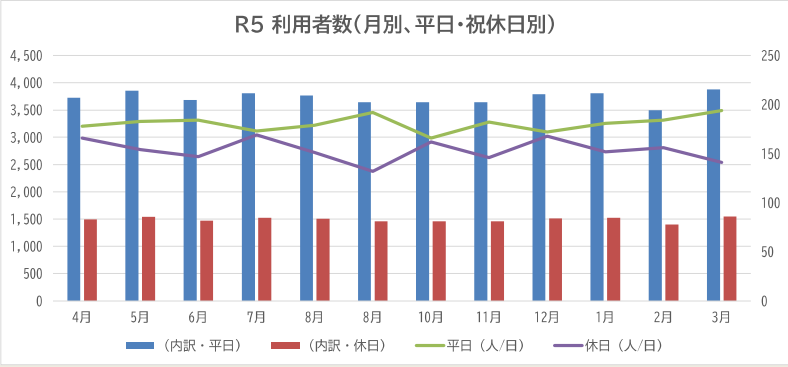
社会目的適合性 ※県民利用施設等のみ	①施設の設置目的	○岩手県では、昭和40年代から50年代の前半にかけて、精神薄弱者(当時の法律上の呼称で、現在は知的障がい者)援護施設の整備を進めてきたが、依然として入所希望者に対応できない実状にあったことから、「コロニー建設基本計画」を策定のうえ、県立の精神薄弱者総合援護施設(コロニー)を整備していくこととした。 ○中山の園は、昭和54年に精神薄弱者総合援護施設として、重度棟(西岳寮)が開設されて以来、建設基本計画に基づき、昭和58年までに、定員300人(重度200人、一般50人、授産50人)の施設として整備された。 ○中山の園の基本方針として、入所者の能力の程度、社会適応性に対応した指導訓練を実施し、入所者の社会復帰を図るとともに、一般社会に適応することが困難な方に対しては、長期にわたり施設の中で社会生活が営める機能を担うものとし、開設当初から、県内各地の入所ニーズに対応してきたところである。
	②建物が提供する機能	○入所者の能力の程度、社会適応性に対応した指導訓練を実施し、入所者の社会復帰を図るとともに、一般社会に適応することが困難な方に対しては、長期にわたり施設の中で社会生活が営める機能を担う ○国の施策として地域生活への移行支援が進められる中で、平成3年から管内各地にグループホームを設置、行政が利用者のサービスを決定する「措置制度」から利用者自らがサービスを選択する「契約制度」に転換され、多くの利用者が地域で生活するようになった。 ○地域生活する方の通所施設として、平成24年に障害福祉サービス事業所「ワークなかやま」(定員25人、就労B)を、平成26年に生活介護事業「ふたば」(定員20人)を園内に開設し、日中活動の受け皿となっている。
	③設置目的の適合性	○当初の設置目的に加え、入所者の高齢化や障がいの重度化など新たな課題への対応が求められている。
	④施策上の必要性	○地域移行により入所施設(5施設)ついては平成26年に定員190人に減少する一方、入所者の高齢化が進んでいる中で、心身機能の低下や医療の必要性から地域移行が困難な入所者の増加が見込まれており、高齢障がい者に対する支援体制の充実を図っていく必要がある。また、入所者の高齢化・重度化による頻回な受診支援の増加や、車いすでのすれ違いが困難である箇所や段差の解消等、生活改善に向けた対応が必要である。 ○入所者一人当たりの居室面積が現行の最低基準を下回っており、基準に合致させる必要がある。
	⑤建物の必要性	○開設から40年以上が経過し、施設・設備の老朽化により毎年度多額な維持・修繕工事が発生しており、抜本的な対応が必要である。
	⑥類似施設への代替可能性	みたけの杜、てしろもりの丘等の類似施設はあるが、各施設ともに定員を満たしており、今後の利用ニーズも見込まれることから、代替の可能性は低い。
	⑦今後の方向性	○令和元年度に設置した有識者等で構成する「中山の園整備基本構想・基本計画検討委員会」及びワーキンググループでの検討結果を踏まえて、令和5年1月に施設整備の基本的な方向性を取りまとめた「中山の園整備基本構想」を策定した。 ○ 基本構想を基に、入所者本位や地域との共生に配慮しながら、施設の機能、整備予定地、施設規模等を定める「中山の園整備基本計画」を令和7年8月に策定するとともに、並行して、大規模事業評価専門委員会へ諮問、答申を受け、事業を実施することした。 ○今後は、基本設計・実施設計等を進めていく予定。
	⑧利用者推移の分析	○令和3年度までは横ばいで推移していたが、新型コロナウイルス感染拡大により新規入所が滞る一方、死亡や医療機関への移転者の増加による入所者数が減少したが、令和5年5月のコロナ明け以降入所調整が進展し、少しずつ増加している状況。
	⑨設置目的の達成に向けたKGI	○障害者支援施設としての入所者数を設定 【現状値R4】63,510人(達成率93.9%) 【目標値R8】67,640人

12	主要棟	名称	管理指導診療棟			現況写真
13		構造	RC造	種目	事務所建	
14		階数	地上　2階	地下	0階	
15		建築面積	1,210.61㎡	延床面積	1,477.95㎡	
16		建築年月日	1978年12月	法定耐用年数	50 年	
17		耐震診断	未	耐震改修	未	
18		その他特記事項				

上段：管理診療棟
中段：りんどう
下段：ワークなかやま・体育館

2 利用状況

29	R5利用状況	開館日数	365日(入所施設)		開館時間		24時間		年間利用者数		62,634 人		
		月別・利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
30			5,220	5,394	5,160	5,332	5,270	5,100	5,100	5,100	5,301	5,332	4,900	5,425
31		(内訳・平日)	3,729	3,853	3,686	3,809	3,764	3,643	3,643	3,643	3,786	3,809	3,500	3,875
32		(内訳・休日)	1,491	1,541	1,474	1,523	1,506	1,457	1,457	1,457	1,515	1,523	1,400	1,550
33		利用者数内訳・団体	0 人					利用者数内訳・個人		62,634 人				
		利用者数の推移(直近5年間)	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		増減率(R5/過去5年平均)	
34			67,160人		66,795人		67,525人		66,795人		63,510人		-5.6%	
35		施設利用対象者マクロデータ ※県内療育手帳(A)所持者数	当 時【A】(S59年度末時点)		1,467人		現 在【B】(R4年度末時点)		4,181人		増減率(マクロデータ)		185.0%	
36	令和5年度施設利用者推移													



3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

	行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
	経常費用	188,547	100.0%	150,006	100.0%	76,360	100.0%
	人件費		0.0%		0.0%		0.0%
	物件費等	65,692	34.8%	38,414	25.6%	2,300	3.0%
	維持修繕費	55,092	29.2%	43,869	29.2%	6,337	8.3%
	減価償却費	67,763	35.9%	67,723	45.1%	67,723	88.7%
	支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
	臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
	その他		0.0%		0.0%		0.0%
	支出合計	188,547	100.0%	150,006	100.0%	76,360	100.0%
28	経常収益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
	使用料・手数料		-		-		-
	その他		-		-		-
	臨時利益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
	資産売却益		-		-		-
	その他		-		-		-
	補助金等(間接的収入)	0	-	0	-	0	-
	国庫補助金		-		-		-
	その他		-		-		-
	収入合計	0	-	0	-	0	-
	年間コスト	▲ 188,547		▲ 150,006		▲ 76,360	

29	年間利用者数	66,795	人	63,510	人	62,634	人
30	延床面積当たりコスト	9,417	円/㎡	7,492	円/㎡	3,814	円/㎡
31	利用者1人当たりコスト	2,823	円/人	2,362	円/人	1,219	円/人
32	(参考)県民1人当たりコスト	158	円/人	127	円/人	66	円/人
33	有形固定資産減価償却率	86.8	%	88.5	%	90.2	%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

43 直近5年の維持修繕・改修費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫	0	0	0	0		0百万円
県債	70	97	65	31		263百万円
一般財源	19	26	19	11		75百万円
その他	0	0	0	0		0百万円
計	89百万円	123百万円	84百万円	42百万円	0百万円	338百万円

5 施設評価

	1次評価(定量評価)	評価・分析結果
44		
45	ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(利用状況)
46	ソフト×ハード(建物性能)	廃止(抜本的見直し)

2次評価(定性評価)	評価結果
施策上の必要性	高
代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	更新
47 施設全体の方針	重度知的障がい者や精神障がい者等を持つ方の入所施設として整備され、定員の9割を超える入所者数となるなど、県として施設を維持する必要性は高い。 施設の老朽化が進んでおり、長寿命化改修又は更新等を検討する必要がある。 現在、運営は県社会福祉事業団が担っており、今後、施設自体の移管についても検討していく必要がある。			

7 長寿命化等対策の方向性等

48 長寿命化等対策の方向性	・施設・設備の老朽化や、入所者の高齢化・重度化といった課題に対応するため、「中山の園整備基本計画」に基づき、改築整備を行う。 ・また、施設の高圧機器PCB対策、浄化槽上屋改修等を行う。

49 主な維持修繕・改修の内容

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
・改築整備	基本計画策定 → 基本設計・実施設計 地質調査		建設工事	建設工事 ●一部供用開始	建設工事	※R12年度 774百万円(県債619,一般155) ●全面供用開始
・改修等	高圧機器PCB対策等					

50	概算費用(見込)	247 百万円	329 百万円	5,524 百万円	181 百万円	760 百万円	7,041 百万円
	国庫	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
	県債	197 百万円	262 百万円	4,419 百万円	144 百万円	608 百万円	5,630 百万円
	一般財源	50 百万円	67 百万円	1,105 百万円	37 百万円	152 百万円	1,411 百万円
	その他	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

4 施設内建物の概要

34	番号:建物名称		NO_0035中山の園職員宿舎5号棟			NO_0072中山の園職員宿舎6号棟			NO_0073中山の園職員宿舎7号棟			
35	構 造 / 種 目		RC造		住宅建	RC造		住宅建	RC造		住宅建	
36	階 数		地上	3 階	地下	地上	3 階	地下	地上	3 階	地下	
37	建築面積		391.98 ㎡			391.98 ㎡			391.98 ㎡			
38	延床面積		1,078.47 ㎡			1,078.47 ㎡			1,078.47 ㎡			
39	建築年月		1979年2月		耐用年数 50年	1982年2月		耐用年数 47年	1983年2月		耐用年数 47年	
40	耐震診断 / 耐震改修		未		未	未		未	未		未	
41	その他特記事項		入居者なし/事業団で管理			事業団で管理			事業団で管理			
42	主な建築・設備	建 築	屋根:金属 外壁:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放(+吹付)			屋根:金属 外壁:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放(+吹付)			屋根:金属 外壁:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放(+吹付)			
		電気設備	テレビ共同受信設備 電子交換機			テレビ共同受信設備 電子交換機			テレビ共同受信設備 電子交換機			
		機械設備	給水:水道直結方式・公共水道 排水:浄化槽、雑排水ポンプ 消火:屋外消火栓、粉末消火			給水:水道直結方式・公共水道 排水:浄化槽、雑排水ポンプ 消火:屋外消火栓、粉末消火			給水:水道直結方式・公共水道 排水:浄化槽、雑排水ポンプ 消火:屋外消火栓、粉末消火			
43	劣化度調査	建 築	内装全般の汚れ、しみ、ズレなどの損傷			内装全般の汚れ、しみ、ズレなどの損傷			内装全般の汚れ、しみ、ズレなどの損傷			
		電気設備										
		機械設備										
44	定期点検	建 築										
		電気設備										
		機械設備										
45	修繕等 工事履歴	建 築										
		電気設備										
		機械設備							R5し尿浄化槽・7号宿舎し尿浄化槽改			
46	直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度		令和3年度	令和4年度		令和5年度	令和6年度		合計	
	国庫										0百万円	
	県債							7百万円			7百万円	
	一般財源							3百万円			3百万円	
	その他										0百万円	
	計		0百万円		0百万円	0百万円		10百万円	0百万円		10百万円	

(「5 施設評価」、「6 今後の方向性」、「7 長寿命化等対策の方向性等」の欄を削除し、「※総括」のシートに集約)

4 施設内建物の概要

34	番号:建物名称		NO.0070中山の園職員宿舎4号棟			NO.0071中山の園職員宿舎3号棟				NO.0083中山の園地域移行型ホーム（旧職員宿舎）			
35	構 造 / 種 目		RC造		住宅建	RC造		住宅建		RC造		住宅建	
36	階 数		地上	3 階	地下	地上	3 階	地下		地上	2 階	地下	
37	建築面積		314.46 ㎡			314.46 ㎡				299.70 ㎡			
38	延床面積		718.98 ㎡			718.98 ㎡				518.44 ㎡			
39	建築年月		1980年3月		耐用年数 47年	1980年3月		耐用年数 47年		1979年2月		耐用年数 47年	
40	耐震診断 / 耐震改修		未		未	未		未		未		未	
41	その他特記事項		入居者なし			入居者なし				事業団で管理、入居者なし			
42	主な建築・設備	建 築	屋根:金属 外壁:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放（＋吹付）			屋根:金属 外壁:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放（＋吹付）				屋根:金属 外壁:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放（＋吹付）			
		電気設備	テレビ共同受信設備 電子交換機			テレビ共同受信設備 電子交換機				テレビ共同受信設備 電子交換機			
		機械設備	給水:水道直結方式・公共水道 排水:浄化槽、雑排水ポンプ 消火:屋外消火栓、粉末消火			給水:水道直結方式・公共水道 排水:浄化槽、雑排水ポンプ 消火:屋外消火栓、粉末消火				給水:水道直結方式・公共水道 排水:浄化槽、雑排水ポンプ 消火:屋外消火栓、粉末消火			
43	劣化度調査	建 築											
		電気設備											
		機械設備											
44	定期点検	建 築											
		電気設備											
		機械設備											
45	修繕等 工事履歴	建 築											
		電気設備											
		機械設備											

4 施設内建物の概要

34	番号:建物名称		NO.2001中山の園管理指導診療棟			NO.2002中山の園重度居住棟つつじ			NO.2003中山の園中軽度居住棟旧さくら			
35	構 造 / 種 目		RC造		事務所建	RC造		事務所建	RC造		事務所建	
36	階 数		地上	2 階	地下	地上	2 階	地下	地上	2 階	地下	
37	建築面積		1,210.61 ㎡			1,233.88 ㎡			1,173.88 ㎡			
38	延床面積		1,477.95 ㎡			1,300.22 ㎡			1,257.00 ㎡			
39	建築年月		1978年12月	耐用年数	50年	1979年2月	耐用年数	50年	1979年2月	耐用年数	50年	
40	耐震診断 / 耐震改修		未		未	未		未	未		未	
41	その他特記事項								倉庫として使用、入所者なし			
42	主な建築・設備	建 築	屋根:金属、シート防水			屋根:金属、シート防水			屋根:金属、シート防水			
			外壁:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放(+吹付)			外壁:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放(+吹付)			外壁:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放(+吹付)			
		電気設備	テレビ共同受信、電子交換機			テレビ共同受信、電子交換機			テレビ共同受信、電子交換機			
			一般形蛍光ランプ、一般形誘導灯			一般形蛍光ランプ、一般形誘導灯、電池内蔵型非常用照明			一般形蛍光ランプ、一般形誘導灯、電池内蔵型非常用照明			
			自動火災報知設備R型、非常放送			自動火災報知設備P型、非常放送			自動火災報知設備P型、非常放送			
			電気時計設備、拡声設備(構内放送設備			電気時計設備、拡声設備(構内放送設備			電気時計設備、拡声設備(構内放送設備			
		機械設備	暖房:温水暖房、パネルヒーター 給湯:中央式(機械室にボイラー設置)			暖房:温水暖房、ファンコンベクター 冷房:局所冷房方式(エアコン等) 鋼製ボイラー、重油 給湯:局所式給湯設備、給湯用循環ポンプ、膨張タンク、貯湯タンク 真空給水ポンプ、膨張タンク			暖房:温水暖房、ファンコンベクター 冷房:局所冷房方式(エアコン等) 鋼製ボイラー、重油 給湯:局所式給湯設備、給湯用循環ポンプ、膨張タンク、貯湯タンク 真空給水ポンプ、膨張タンク			
			給水:加圧送水方式			給水:加圧送水方式、公共水道			給水:加圧送水方式、公共水道			
			排水:浄化槽、雑排水ポンプ			排水:浄化槽、雑排水ポンプ			排水:浄化槽、雑排水ポンプ			
			消火:スプリンクラー、粉末消火			消火:スプリンクラー、屋内消火栓、粉末			消火:スプリンクラー、屋内消火栓、粉末			
43	劣化度調査	建 築	屋外の手すりなどの金物が腐食、がたつ			雨樋(ルーフドレン、縦樋、軒樋)に詰まり						
			外部階段やバルコニーに腐食、変形、ぐ			施錠、解錠に不具合						
			内装全般の汚れ、しみ、ズレなどの損傷			階段滑り止めが無い所あり						
		電気設備				熱感知器経年劣化による誤報						
						コンセントや延長コードがたこ足配線						
		機械設備										
44	定期点検	建 築										
		電気設備										
		機械設備										
45	修繕等 工事履歴	建 築				R2屋根塗装修繕工事						
		電気設備	H30非常用放送設備更新工事			H30非常用放送設備更新工事						
		機械設備	R1 段差解消機改修工事			R3小荷物専用昇降機改修工事						

46	直近5年の維持修繕・改修費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫						0百万円
	県債	24百万円	13百万円				37百万円
	一般財源	7百万円	4百万円				11百万円
	その他						0百万円
	計	31百万円	17百万円	0百万円	0百万円	0百万円	48百万円

(「5 施設評価」、「6 今後の方向性」、「7 長寿命化等対策の方向性等」の欄を削除し、「※総括」のシートに集約)

4 施設内建物の概要

34	番号:建物名称		NO.2004中山の園サービス棟				NO.2005中山の園重度居住棟(姫神寮)かたくり				NO.2006中山の園中軽度居住棟(馬渕寮)こぶし		
35	構造 / 種目		RC造		事務所建		RC造		事務所建		RC造		事務所建
36	階数		地上	1 階	地下	0 階	地上	2 階	地下	0 階	地上	2 階	地下	0 階
37	建築面積		1,745.47 ㎡				1,237.38 ㎡				1,221.88 ㎡		
38	延床面積		1,574.30 ㎡				1,376.36 ㎡				1,290.11 ㎡		
39	建築年月		1979年2月		耐用年数	50年	1980年3月		耐用年数	50年	1980年3月		耐用年数	50年
40	耐震診断 / 耐震改修		未		未		未		未		未		未
41	その他特記事項												
42	主な建築・設備	建築	屋根:金属、シート防水				屋根:金属、シート防水				屋根:金属、シート防水		
			外壁:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放(+吹付)				外壁:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放(+吹付)				外壁:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放(+吹付)		
		電気設備	屋内型配電盤、キュービクル式、油圧変圧器、低圧進相用コンデンサ				テレビ共同受信、電子交換機				テレビ共同受信、電子交換機		
			省エネ型蛍光ランプ、一般形誘導灯、電池内蔵型非常用照明				一般形蛍光ランプ、一般形誘導灯、電池内蔵型非常用照明				一般形蛍光ランプ、一般形誘導灯、電池内蔵型非常用照明		
			自動火災報知設備P型、非常放送				自動火災報知設備P型、非常放送				自動火災報知設備P型、非常放送		
			電気時計設備、拡声設備(構内放送設備				電気時計設備、拡声設備(構内放送設備				電気時計設備、拡声設備(構内放送設備		
		機械設備	暖房:温水暖房、パネルヒーター 鋼製ボイラー、重油、膨張タンク、オイルサービスタンク 給湯:中央式給湯設備(機械室にボイラーを設置)真空式温水発生器、、給湯用循環ポンプ、膨張タンク、貯湯タンク 真空給水ポンプ、膨張タンク				暖房:温水暖房、ファンコンベクター 冷房:局所冷房方式(エアコン等) 鋼製ボイラー、重油 給湯:局所式給湯設備、給湯用循環ポンプ、膨張タンク、貯湯タンク 真空給水ポンプ、膨張タンク				暖房:温水暖房、ファンコンベクター 冷房:局所冷房方式(エアコン等) 鋼製ボイラー、重油 給湯:局所式給湯設備、給湯用循環ポンプ、膨張タンク、貯湯タンク 真空給水ポンプ、膨張タンク		
			給水:加圧送水方式、公共水道				給水:加圧送水方式、公共水道				給水:加圧送水方式、公共水道		
			排水:浄化槽、雑排水ポンプ				排水:浄化槽、雑排水ポンプ				排水:浄化槽、雑排水ポンプ		
			消火:屋外消火栓、粉末消火、消火ポンプユニット、呼水槽				消火:スプリンクラー、屋内消火栓、粉末消火				消火:スプリンクラー、屋内消火栓、粉末消火		
43	劣化度調査	建築					屋上に土やゴミがたまっている						
							雨樋(ルーフドレン、縦樋、軒樋)に詰まり						
							施錠、解錠に不具合排水口より異臭						
		電気設備	コンセントや延長コードがたこ足配線				コンセントや延長コードがたこ足配線						
		機械設備											
44	定期点検	建築											
		電気設備											
		機械設備											
45	修繕等工事履歴	建築	H30 重油地下タンク高精度液面計取付工事				R2屋根塗装修繕工事 屋根塗装修繕工事 やまゆり、かたくり、こぶしの各棟合計額				R2屋根塗装修繕工事 屋根塗装修繕工事 やまゆり、かたくり、こぶしの各棟合計額		
		電気設備	H22 引込高圧受電盤改修工事 H30 非常用放送設備更新工事 R2 非常電源装置改修工事 R4 直流電源装置蓄電池交換工事 R5 非常電源装置改修工事				H30 非常用放送設備更新工事 段差解消機改修工事 管理診療棟、かたくり、りんどう、やまゆりの各棟				H30 非常用放送設備更新工事		
		機械設備	H27ボイラー軟水器交換 R1 炉筒煙管式ボイラー改修工事 R6 ボイラー軟水器交換				R1 段差解消機改修工事 R3小荷物専用昇降機改修工事 小荷物専用昇降機拐取工事 やまゆり、かたくり、こぶしの各棟合計額				R3小荷物専用昇降機改修工事 小荷物専用昇降機拐取工事 やまゆり、かたくり、こぶしの各棟合計額		

46

直近5年の維持修繕・改修費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫						0百万円
県債	46百万円	13百万円	1百万円	17百万円		77百万円
一般財源	12百万円	4百万円	1百万円	5百万円		22百万円
その他						0百万円
計	58百万円	17百万円	2百万円	22百万円	0百万円	99百万円

(「5 施設評価」、「6 今後の方向性」、「7 長寿命化等対策の方向性等」の欄を削除し、「※総括」のシートに集約)

4 施設内建物の概要

34	番号:建物名称		NO_2007中山の園訓練センター一戸・二戸エリア担当部			NO_2008中山の園厚生会館			NO_2009中山の園体育館			
35	構 造 / 種 目		RC造		事務所建	RC造		事務所建	S造		事務所建	
36	階 数		地上	1 階	地下	地上	2 階	地下	地上	1 階	地下	
37	建築面積		620.92 ㎡			445.36 ㎡			652.44 ㎡			
38	延床面積		621.50 ㎡			719.09 ㎡			665.01 ㎡			
39	建築年月		1980年3月		耐用年数 50年	1980年3月		耐用年数 50年	1980年3月		耐用年数 38年	
40	耐震診断 / 耐震改修		未		未	未		未	未		未	
41	その他特記事項											
42	主な建築・設備	建 築	屋根:金属、シート防水			屋根:金属、シート防水			屋根:金属			
			外壁:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放(+吹付)			外壁:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放(+吹付)			外壁:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放(+吹付)			
		電気設備	テレビ共同受信、電子交換機			テレビ共同受信、電子交換機						
			一般形蛍光ランプ、一般形誘導灯、電池内蔵型非常用照明			一般形蛍光ランプ、一般形誘導灯、電池内蔵型非常用照明			一般形誘導灯			
			自動火災報知設備P型、非常放送			自動火災報知設備P型、非常放送、副受信機			非常放送			
			電気時計設備、拡声設備(構内放送設備			電気時計設備、拡声設備(構内放送設備			電気時計設備、映像音響装置			
		機械設備	暖房:局所暖房(FFストーブ等) 冷房:局所冷房方式(エアコン等)			暖房:温水暖房、ファンコンベクター 鋳鉄製ボイラー、重油 オイルサービスタンク、膨張タンク、オイルポンプ 給湯:中央式給湯設備(機械室にボイラーを設置)、給湯用循環ポンプ			暖房:温水暖房			
			給水:加圧送水方式、公共水道			給水:水道直結方式、公共水道			給水:加圧送水方式			
			排水:浄化槽、雑排水ポンプ			排水:浄化槽、雑排水ポンプ、公共下水			排水:浄化槽、雑排水ポンプ			
			消火:粉末消火			消火:粉末消火			消火:粉末消火			
43	劣化度調査	建 築										
		電気設備	コンセントや延長コードがたこ足配線			コンセントや延長コードがたこ足配線						
		機械設備										
44	定期点検	建 築										
		電気設備										
		機械設備										
45	修繕等 工事履歴	建 築	R4体育館ほか屋根改修工事 R4体育館ほか屋根改修工事 一戸・二戸エリア担当部、ふたば、体育館の各棟 合計額						R4体育館ほか屋根改修工事 R4体育館ほか屋根改修工事 一戸・二戸エリア担当部、ふたば、体育館の各棟 合計額			
		電気設備	H30 非常用放送設備更新工事			H30 非常用放送設備更新工事			H30 非常用放送設備更新工事			
		機械設備										

46	直近5年の維持修繕・改修費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫						0百万円
	県債			32百万円			32百万円
	一般財源			9百万円			9百万円
	その他						0百万円
	計	0百万円	0百万円	41百万円	0百万円	0百万円	41百万円

(「5 施設評価」、「6 今後の方向性」、「7 長寿命化等対策の方向性等」の欄を削除し、「※総括」のシートに集約)

4 施設内建物の概要

34	番号:建物名称		NO.2010中山の園居住棟(重度B)りんど			NO.2011中山の園重度居住棟やまゆり				NO.2012中山の園受水槽上屋		
35	構 造 / 種 目		RC造		事務所建	RC造		事務所建		S造		倉庫建
36	階 数		地上	2 階	地下 1 階	地上	2 階	地下		地上	1 階	地下
37	建築面積		1,243.51 ㎡			1,243.51 ㎡				275.56 ㎡		
38	延床面積		1,390.74 ㎡			1,408.57 ㎡				256.00 ㎡		
39	建築年月		1982年3月		耐用年数 50年	1983年3月		耐用年数 50年		1979年2月		耐用年数 31年
40	耐震診断 / 耐震改修		未		未	未		未		未		未
41	その他特記事項											
42	主な建築・設備	建 築	屋根:金属 外壁:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放(+吹付)			屋根:金属 外壁:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放(+吹付)				屋根:金属 外壁:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放(+吹付)		
		電気設備	テレビ共同受信、電子交換機 一般形蛍光ランプ、一般形誘導灯、電池内蔵型非常用照明 自動火災報知設備P型、非常放送 電気時計設備、拡声設備(構内放送設備)			テレビ共同受信、電子交換機 一般形蛍光ランプ、一般形誘導灯、電池内蔵型非常用照明 自動火災報知設備P型、非常放送 電気時計設備、拡声設備(構内放送設備)				一般形蛍光ランプ		
		機械設備	暖房:温水暖房、ファンコンベクター 冷房:局所冷房方式(エアコン等) 鋼製ボイラー、重油 給湯:局所式給湯設備、給湯用循環ポンプ、膨張タンク、貯湯タンク 真空給水ポンプ、膨張タンク 給水:加圧送水方式、公共水道 排水:浄化槽、雑排水ポンプ 消火:スプリンクラー、屋内消火栓、粉末消火			暖房:温水暖房、ファンコンベクター 冷房:局所冷房方式(エアコン等) 鋼製ボイラー、重油 給湯:局所式給湯設備、給湯用循環ポンプ、膨張タンク、貯湯タンク 真空給水ポンプ、膨張タンク 給水:加圧送水方式、公共水道 排水:浄化槽、雑排水ポンプ 消火:スプリンクラー、屋内消火栓、粉末消火				暖房:温水暖房 給水:加圧送水方式、公共水道、自動給水ポンプユニット 排水:浄化槽、雑排水ポンプ 消火:屋外消火栓、粉末消火、消火ポンプユニット、呼水槽		
43	劣化度調査	建 築	屋根葺き材変形(めくれ) 階段踏み段に損傷 施錠、解錠に不具合 排水口より異臭			屋根葺き材変形(めくれ) 階段踏み段に損傷 施錠、解錠に不具合 排水口より異臭						
		電気設備	コンセントや延長コードがたこ足配線			コンセントや延長コードがたこ足配線						
		機械設備										
44	定期点検	建 築										
		電気設備										
		機械設備										
45	修繕等 工事履歴	建 築	R3 りんどう棟ほか屋根改修工事 りんどう棟ほか屋根改修工事 りんどう、やまゆりの、ワークなかやま各棟合計額			R3 りんどう棟ほか屋根改修工事 りんどう棟ほか屋根改修工事 りんどう、やまゆりの、ワークなかやま各棟合計額						
		電気設備	H30 非常用放送設備更新工事 段差解消機改修工事 管理診療棟、かたくり、りんどう、やまゆりの各棟合計額			H30 非常用放送設備更新工事 段差解消機改修工事 管理診療棟、かたくり、りんどう、やまゆりの各棟合計額				R3屋内消火栓設備修繕工事		
		機械設備	R1 段差解消機改修工事			R1 段差解消機改修工事 R3小荷物専用昇降機改修工事 小荷物専用昇降機拐取工事 やまゆり、かたくり、こぶしの各棟合計額						
46	直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度		令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		合計
	国庫											0百万円
	県債				43百万円							43百万円
	一般財源				11百万円							11百万円
	その他											0百万円
	計		0百万円		54百万円	0百万円		0百万円		0百万円		54百万円

(「5 施設評価」、「6 今後の方向性」、「7 長寿命化等対策の方向性等」の欄を削除し、「※総括」のシートに集約)

4 施設内建物の概要

34	番号:建物名称		NO.2013中山の園浄化槽上屋			NO.2022中山の園職業訓練授産作業棟ワークなかやま				NO.2033中山の園重度精神薄弱者作業棟ふたば			
35	構造 / 種目		S造		倉庫建	S造		雑屋建		RC造		雑屋建	
36	階数		地上	1階	地下	地上	1階	地下		地上	1階	地下	
37	建築面積		255.84 ㎡			820.00 ㎡				450.11 ㎡			
38	延床面積		255.84 ㎡			824.00 ㎡				412.50 ㎡			
39	建築年月		1979年2月		耐用年数 31年	1978年12月		耐用年数 31年		1994年3月		耐用年数 38年	
40	耐震診断 / 耐震改修		未		未	未		未		未		未	
41	その他特記事項												
42	主な建築・設備	建築	屋根:金属			屋根:金属				屋根:金属			
			外壁:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放(+吹付)			外壁:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放(+吹付)				外壁:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放(+吹付)			
		電気設備	一般形蛍光ランプ			一般形蛍光ランプ、一般形誘導灯、電池内蔵型非常用照明				屋内型配電盤、油圧変圧器、高圧進相用コンデンサ			
						自動火災報知設備P型、非常放送				一般形蛍光ランプ、一般形誘導灯			
						テレビ共同受信、監視カメラ設備				自動火災報知設備P型、非常放送			
						電気時計設備、拡声設備(構内放送設備)				テレビ共同受信、電子交換機、誘導支援装置			
		機械設備	排水:浄化槽、雑排水ポンプ			暖房:局所暖房方式、ファンコンベクター 冷房:局所冷房方式(エアコン等) 空調用ポンプ 給湯:貯湯式電気温水器				暖房:局所暖房方式、パネルヒーター オイルタンク 給湯:貯湯式電気温水器			
						給水:水道直結方式、公共水道				給水:水道直結方式、公共水道			
						排水:浄化槽、雑排水ポンプ、公共下水道				排水:雑排水ポンプ、公共下水道			
						消火:屋内消火栓、屋外消火栓、粉末消火				消火:粉末消火			
43	劣化度調査	建築								雪庇による屋根等の損傷 非常口のスロープ・階段が腐食し破損			
										ベントキャップ破損、排気口損傷			
										施錠、解錠に不具合、排水不良			
		電気設備				コンセントや延長コードがたこ足配線				コンセントや延長コードがたこ足配線			
		機械設備											
44	定期点検	建築											
		電気設備											
		機械設備											
45	修繕等工事履歴	建築	R5し尿浄化槽・7号宿舎し尿浄化槽改修工事			R3 りんどう棟ほか屋根改修工事				R4体育館ほか屋根改修工事			
			し尿浄化槽・7号宿舎し尿浄化槽改修工事 浄化槽上屋、7号棟の各棟合計額			りんどう棟ほか屋根改修工事 りんどう、やまゆりの、ワークなかやま各棟合計額				R4体育館ほか屋根改修工事 一戸・二戸エリア担当部、ふたば、体育館の各棟合計額			
		電気設備											
		機械設備											
46	直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度		令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		合計	
	国庫											0百万円	
	県債				28百万円	32百万円		7百万円				67百万円	
	一般財源				7百万円	9百万円		3百万円				19百万円	
	その他											0百万円	
	計		0百万円		35百万円	41百万円		10百万円		0百万円		86百万円	

(「5 施設評価」、「6 今後の方向性」、「7 長寿命化等対策の方向性等」の欄を削除し、「※総括」のシートに集約)

（2）岩手県公共施設カルテの評価結果を踏まえた今後の保健福祉部の検討の方向性

岩手県公共施設カルテの評価結果においては、現状維持及び更新という結果であることから、第２期岩手県公共施設等総合計画期間中においては、施設・設備の老朽化や、入所者の高齢化・重度化といった課題に対応するため、「中山の園整備基本計画」に基づき、改築整備を行っていく。

17 たばしね学園　　No. 17

(1)岩手県公共施設カルテ(個表:庁舎等用)個別施設計画策定指針による今後の方向性

1 施設概要

1	施設名称	たばしね学園	策定年月	令和3年3月	最終更新	令和7年12月
2	所在地	奥州市前沢区田畠18番5	施設類型	県民利用施設	財産区分	普通財産
3	所管課	保健福祉部障がい保健福祉課	運営形態	その他	防災施設等指定	非該当
4	都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種中高層住居専用地域
5	敷地面積	10,747.05 ㎡	建築面積	2,576.76 ㎡	延床面積	2,492.25 ㎡
6	竣工年度(建築年月)	1994年10月	経過年数(R7.4.1現在)	30 年	施設内棟数	2 棟
7	設置根拠	有　児童福祉法第42条			年間目標利用者数	
8	設置目的	児童福祉法に基づく福祉型障害児入所施設であり、障がいのある児童を入所させて、保護、日常生活の指導及び独立自活に必要な知識技能の付与を行うことを目的とした施設である。				
9	施設の概況	・昭和44年に岩手県南精神薄弱児施設組合(一部事務組合)として開設。昭和47年に岩手県に移管されたのと同時に、社会福祉法人岩手県社会福祉事業団(昭和46年に県立社会福祉施設の受託運営を行うことを目的に、県の全額出資により設立された団体。以下「事業団」という。)が運営を委託していたが、平成18年に県から当事業団に運営を移管した。 ・土地及び建物・設備等は県が貸し付けており、建物・設備等の改修や大規模修繕は県が行うこととしている。				

	類似施設	公共	有	てしろもりの丘	民間	有　福祉型障害児入所施設
10	未利用設備	無			大規模改修	無

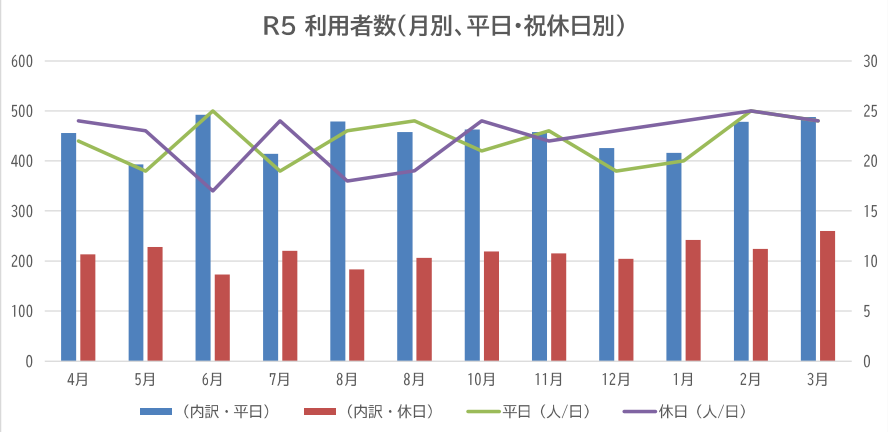
社会目的適合性 ※県民利用施設等のみ	①施設の設置目的	児童福祉法に基づく福祉型障害児入所施設であり、障がいのある児童を入所させて、保護、日常生活の指導及び独立自活に必要な知識技能の付与を行うことを目的とした施設である。
	②建物が提供する機能	福祉型障害児入所施設として、将来自活できるために必要な知識、技能を習得させることを目的として、児童の能力・特性に応じた発達・自立支援を行っている。 また、短期入所事業、日中一時支援事業、放課後等デイサービス、相談支援事業も行っている。
	③設置目的の適合性	児童福祉法に基づく福祉型障害児入所施設等の福祉サービスを提供しており、設置目的に適合している。
	④施策上の必要性	近年では知的障がいに併せて自閉スペクトラム症等の発達障がいを有する方、虐待等により家庭での生活が困難になっている方などの利用も増えており、施設の必要性は増している。
	⑤建物の必要性	事業団に譲渡するまでの間、県において施設の修繕、改修等を行いながら維持していく必要がある。
	⑥類似施設への代替可能性	てしろもりの丘等の類似施設はあるが、各施設ともに定員を満たしており、今後の利用ニーズも見込まれることから、代替の可能性は低い。
	⑦今後の方向性	岩手県社会福祉事業団への貸付期間中は、原則として大規模改修、改築費用は県が負担することとしており、譲渡するまでの間は、県で施設の修繕、改修等を行っていく。 なお、建物設備等の譲渡に向けては、平成17年3月に策定した「県立社会福祉施設改革プラン」において、「基本的には民間で運営が可能な施設は民間に移管し、その活力と創意工夫のもと、利用者個々の状況に応じて必要なサービスをより柔軟で迅速に提供できる施設運営を目指す」とされていることから、こうした趣旨に鑑み、早期の譲渡に向けた検討を行っていく。
	⑧利用者推移の分析	現在の利用状況、人口動態等から、利用者数は現在と同程度で推移していくものと見込まれる。
	⑨設置目的の達成に向けたKGI	

12	主要棟	名称	本棟			現況写真
13		構造	RC造	種目	事務所建	
14		階数	地上　1階	地下	0階	
15		建築面積	2,424.99 ㎡	延床面積	2,236.01 ㎡	
16		建築年月日	1994年10月	法定耐用年数	50 年	
17		耐震診断	不要	耐震改修	不要	
18		その他特記事項				

2 利用状況

29	R5利用状況	開館日数	365 日			開館時間		24時間		年間利用者数		8,008 人	
		月別・利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
30			669	621	665	634	662	664	682	673	630	658	702	748
31		(内訳・平日)	456	393	492	414	479	458	463	458	426	416	478	488
32		(内訳・休日)	213	228	173	220	183	206	219	215	204	242	224	260
33		利用者数内訳・団体	なし					利用者数内訳・個人		8,008 人				
		利用者数の推移(直近5年間)	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		増減率(R5/過去5年平均)	
34			11,351人		10,738人		8,262人		6,601人		7,031人		▲ 9.0%	
35		施設利用対象者マクロデータ ※県内療育手帳(A)所持者数	開設当時【A】(S59年度末時点)		1,467人		現 在【B】(R4年度末時点)		4,181人		増減率(マクロデータ)		185.0%	

36 令和5年度 施設利用者推移



3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
経常費用	31,092	100.0%	38,693	100.0%	38,901	100.0%
人件費		0.0%		0.0%		0.0%
物件費等	14,465	46.5%	22,066	57.0%	22,274	57.3%
維持修繕費		0.0%		0.0%		0.0%
減価償却費	16,627	53.5%	16,627	43.0%	16,627	42.7%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
28 支出合計	31,092	100.0%	38,693	100.0%	38,901	100.0%
経常収益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
使用料・手数料		-		-		-
その他		-		-		-
臨時利益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
資産売却益		-		-		-
その他		-		-		-
補助金等(間接的収入)	0	-	0	-	0	-
国庫補助金		-		-		-
その他		-		-		-
収入合計	0	-	0	-	0	-
年間コスト	▲ 31,092		▲ 38,693		▲ 38,901	

29	年間利用者数	6,601	人	7,031	人	8,008	人
30	延床面積当たりコスト	12,475	円/㎡	15,525	円/㎡	15,609	円/㎡
31	利用者1人当たりコスト	4,710	円/人	5,503	円/人	4,858	円/人
32	(参考)県民1人当たりコスト	26	円/人	33	円/人	33	円/人
33	有形固定資産減価償却率	58.9	%	60.9	%	62.9	%

(参考)岩手県の人口 (単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

34	番号:建物名称		1:本棟				2:職員宿舎					
35	構 造 / 種 目		RC造		事務所建		RC造		住宅建			
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	2 階	地下	0 階	地上	地下
37	建築面積		2,424.99 ㎡				151.77 ㎡					
38	延床面積		2,236.01 ㎡				256.24 ㎡					
39	建築年月		1994年10月		耐用年数	50年	1994年10月		耐用年数	47年		耐用年数
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要			
41	その他特記事項											
42	主な建築・設備	建 築										
		電気設備	受変電:キュービクル式									
			発電:屋外型ディーゼル									
			警報:自動火災報知設備									
			構内交換:電子交換機				構内交換:電子交換機					
		機械設備	給水:加圧送水方式・公共水道				給水:水道直結方式・公共水道					
			排水:浄化槽・雑排水ポンプ				排水:浄化槽・雑排水ポンプ					
			給湯:中央式・ガス給湯器				給湯:局所式・ガス給湯器					
			消火:屋内消火栓、粉末消火等				消火:、粉末消火					
43	劣化度調査	建 築										
		電気設備										
		機械設備										
44	定期点検	建 築										
		電気設備										
		機械設備										
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築										
		電気設備	受変電設備更新【18】(R6)									
		機械設備										

46	直近5年の維持修繕・改修費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫						0百万円
	県債						0百万円
	一般財源						0百万円
	その他						0百万円
	計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

5 施設評価

	1次評価(定量評価)	評価・分析結果
47		
48	ソフト(利用状況×経費効率)	現状維持
49	ソフト×ハード(建物性能)	現状維持

2次評価(定性評価)	評価結果
施策上の必要性	高
代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

54	施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	売却・移管
		現在、運営は県社会福祉事業団が担っており、今後、施設自体の移管についても検討していく必要がある。 岩手県社会福祉事業団への貸付期間中は、原則として大規模改修は県が負担することとしており、譲渡するまでの間は、県で施設の修繕、改修等を行っていく。		

7 長寿命化等対策の方向性等

56	長寿命化等対策の方向性	・岩手県社会福祉事業団への貸付期間中は、建物性能・劣化度などの老朽化の状況や利用状況などを総合的に勘案のうえ、計画的に長寿命化を実施する。 ・計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。					
57	主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
58	概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
	国庫						0 百万円
	県債						0 百万円
	一般財源						0 百万円
	その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

（2）岩手県公共施設カルテの評価結果を踏まえた今後の保健福祉部の検討の方向性

岩手県社会福祉事業団への貸付期間中は、原則として大規模改修は県が負担することとしており、譲渡するまでの間は、県で施設の修繕、改修等を行っていく。

現在、運営は県社会福祉事業団が担っており、今後、施設自体の移管についても検討していく必要がある。

18　やさわの園　　No.　18

(1)岩手県公共施設カルテ(個表:庁舎等用)※個別施設計画策定指針による今後の方向性

1　施設概要

1	施設名称	やさわの園	策定年月	令和3年3月	最終更新	令和7年12月
2	所在地	花巻市高松第7地割145番2	施設類型	県民利用施設	財産区分	普通財産
3	所管課	保健福祉部障がい保健福祉課	運営形態	その他	防災施設等指定	非該当
4	都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5	敷地面積	14,699.53 ㎡	建築面積	3,705.76 ㎡	延床面積	3,480.41 ㎡
6	竣工年度 (建築年月)	2013年3月	経過年数 (R7.4.1現在)	12 年	施設内棟数	2 棟
7	設置根拠	有	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(抜粋) 第83条第2項　都道府県は、障害者支援施設を設置することができる。		年間目標利用者数	
8	設置目的	障害者総合支援法に基づく障害者支援施設として、施設入所支援、生活介護、短期入所等の障害福祉サービスを提供しており、障がい者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者の障がいの特性や意向などに配慮しつつ、介護その他の日常生活上の支援や、自立に向けた訓練等を行うことを目的とした施設である。				
9	施設の概況	・昭和49年に重度障がい児を対象とする知的障害児施設として開設し、社会福祉法人岩手県社会福祉事業団(昭和46年に県立社会福祉施設の受託運営を行うことを目的に、県の全額出資により設立された団体。以下「事業団」という。)に運営を委託。平成14年に年齢超過児の増加に対応するため、児者転換し、知的障害者更生施設として開設。その後、平成18年に県から当事業団に運営を移管した。 ・土地及び建物・設備等は県が貸し付けており、建物・設備等の改修や大規模修繕は県が行うこととしている。				
	類似施設	公共　有	みたけの杜、てしろもりの丘等(障害者支援施設)	民間　有	障害者支援施設	
10	未利用設備	無		大規模改修	無	

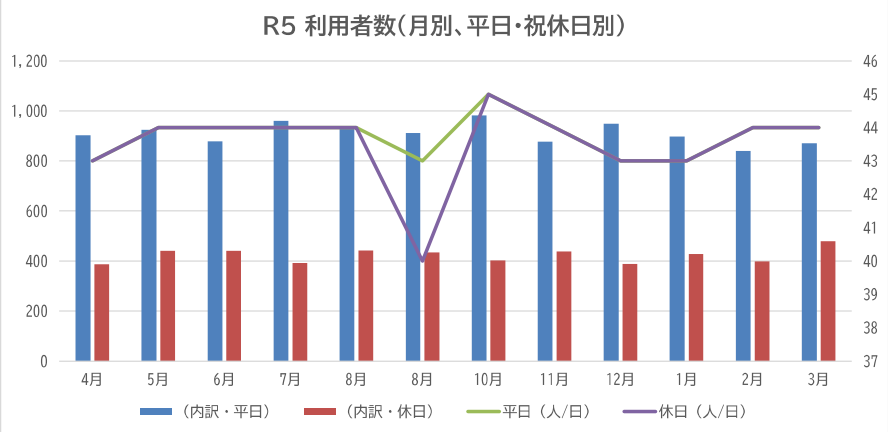
社会目的適合性 ※県民利用施設等のみ	①施設の設置目的	障害者総合支援法に基づく障害者支援施設として、施設入所支援、生活介護、短期入所等の障害福祉サービスを提供しており、障がい者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者の障がいの特性や意向などに配慮しつつ、介護その他の日常生活上の支援や、自立に向けた訓練等を行うことを目的とした施設である。
	②建物が提供する機能	障がい者に対して、食事や入浴の介護など、日常生活上の支援を提供している。
	③設置目的の適合性	障害者総合支援法に基づいて、施設入所支援、生活介護、就短期入所等の障害福祉サービスを提供しており、設置目的に適合している。
	④施策上の必要性	利用者数は現在と同程度で推移していくものと見込まれ、機能を維持していく必要がある。
	⑤建物の必要性	事業団に譲渡するまでの間、県において施設の修繕、改修等を行いながら維持していく必要がある。
	⑥類似施設への代替可能性	みたけの杜、てしろもりの丘等の類似施設はあるが、各施設ともに定員を満たしており、今後の利用ニーズも見込まれることから、代替の可能性は低い。
	⑦今後の方向性	岩手県社会福祉事業団への貸付期間中は、原則として大規模改修は県が負担することとしており、譲渡するまでの間は、県で施設の修繕、改修等を行っていく。 なお、建物設備等の譲渡に向けては、平成17年3月に策定した「県立社会福祉施設改革プラン」において、「基本的には民間で運営が可能な施設は民間に移管し、その活力と創意工夫のもと、利用者個々の状況に応じて必要なサービスをより柔軟で迅速に提供できる施設運営を目指す」とされていることから、譲渡の方向性についての検討を行っていく。
	⑧利用者推移の分析	現在の利用状況、人口動態等から、利用者数は現在と同程度で推移していくものと見込まれる。
	⑨設置目的の達成に向けたKGI	

12	主要棟	名称	本館		現況写真	
13		構造	RC造	種目	事務所建	
14		階数	地上　1階	地下	0階	
15		建築面積	3,073.76 ㎡	延床面積	2,848.41 ㎡	
16		建築年月日	2013年3月	法定耐用年数	50 年	
17		耐震診断	不要	耐震改修	不要	
18		その他特記事項				

2 利用状況

29	R5利用状況	開館日数	365 日			開館時間		24時間		年間利用者数		15,994 人	
		月別・利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
30			1,289	1,364	1,319	1,353	1,371	1,347	1,384	1,316	1,337	1,326	1,238	1,350
31		(内訳・平日)	902	924	879	960	929	912	982	877	949	898	840	871
32		(内訳・休日)	387	440	440	393	442	435	402	439	388	428	398	479
33		利用者数内訳・団体	なし					利用者数内訳・個人		15,994 人				
		利用者数の推移(直近5年間)	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		増減率(R5/過去5年平均)	
34			16,509人		16,730人		16,906人		16,828人		16,105人		▲ 3.7%	
35		施設利用対象者マクロデータ ※県内療育手帳(A)所持者数	開設当時【A】(S59年度末時点)		1,467人		現 在【B】(R4年度末時点)		4,181人		増減率(マクロデータ)		185.0%	

36 令和5年度 施設利用者推移



3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
経常費用	28,255	100.0%	23,934	100.0%	24,854	100.0%
人件費		0.0%		0.0%		0.0%
物件費等	7,059	25.0%	2,833	11.8%	4,123	16.6%
維持修繕費		0.0%		0.0%		0.0%
減価償却費	21,196	75.0%	21,101	88.2%	20,731	83.4%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
28 支出合計	28,255	100.0%	23,934	100.0%	24,854	100.0%
経常収益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
使用料・手数料		-		-		-
その他		-		-		-
臨時利益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
資産売却益		-		-		-
その他		-		-		-
補助金等(間接的収入)	0	-	0	-	0	-
国庫補助金		-		-		-
その他		-		-		-
収入合計	0	-	0	-	0	-
年間コスト	▲ 28,255		▲ 23,934		▲ 24,854	

29	年間利用者数	16,828	人	16,105	人	15,994	人
30	延床面積当たりコスト	8,118	円/㎡	6,877	円/㎡	7,141	円/㎡
31	利用者1人当たりコスト	1,679	円/人	1,486	円/人	1,554	円/人
32	(参考)県民1人当たりコスト	24	円/人	20	円/人	21	円/人
33	有形固定資産減価償却率	28.7	%	31.0	%	33.2	%

(参考)岩手県の人口 (単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

34	番号:建物名称		1:本館				2:校舎					
35	構 造 / 種 目		RC造		事務所建		RC造		事務所建			
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	地下
37	建築面積		3,073.76 ㎡				632.00 ㎡					
38	延床面積		2,848.41 ㎡				632.00 ㎡					
39	建築年月		2013年3月		耐用年数	50年	1982年3月		耐用年数	50年		耐用年数
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要			
41	その他特記事項											
42	主な建築・設備	建 築										
		電気設備	受変電:屋内型キュービクル式									
			発電:ディーゼル									
			警報:自動火災報知設備				警報:自動火災報知設備					
			構内交換:電話交換機									
		機械設備	給水:加圧送水方式・公共水道				給水:加圧送水方式・公共水道					
			排水:浄化槽・雑排水ポンプ				排水:浄化槽					
			給湯:中央式ヒートポンプ				給湯:ガス給湯器					
			消火:スプリンクラー、粉末消火				消火:粉末消火					
43	劣化度調査	建 築										
		電気設備										
		機械設備										
44	定期点検	建 築										
		電気設備										
		機械設備										
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築										
		電気設備										
		機械設備										

46	直近5年の維持修繕・改修費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫						0百万円
	県債						0百万円
	一般財源						0百万円
	その他						0百万円
	計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

5 施設評価

	1次評価(定量評価)	評価・分析結果
47		
48	ソフト(利用状況×経費効率)	現状維持
49	ソフト×ハード(建物性能)	現状維持

2次評価(定性評価)	評価結果
施策上の必要性	高
代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

54	施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	売却・移管
		現在、運営は県社会福祉事業団が担っており、今後、施設自体の移管についても検討していく必要がある。 岩手県社会福祉事業団への貸付期間中は、原則として大規模改修は県が負担することとしており、譲渡するまでの間は、県で施設の修繕、改修等を行っていく。		

7 長寿命化等対策の方向性等

56	長寿命化等対策の方向性	・岩手県社会福祉事業団への貸付期間中は、建物性能・劣化度などの老朽化の状況や利用状況などを総合的に勘案のうえ、計画的に長寿命化を実施する。 ・計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
57	主な維持修繕・改修の内容						
58	概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
	国庫						0 百万円
	県債						0 百万円
	一般財源						0 百万円
	その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

（2）岩手県公共施設カルテの評価結果を踏まえた今後の保健福祉部の検討の方向性

岩手県社会福祉事業団への貸付期間中は、原則として大規模改修は県が負担することとしており、譲渡するまでの間は、県で施設の修繕、改修等を行っていく。

現在、運営は県社会福祉事業団が担っており、今後、施設自体の移管についても検討していく必要がある。

19 好地荘

No. 19

(1)岩手県公共施設カルテ(個表:庁舎等用)※個別施設計画策定指針による今後の方向性

1 施設概要

1	施設名称	好地荘	策定年月	令和3年3月	最終更新	令和7年12月
2	所在地	花巻市石鳥谷町中寺林7地割46番3	施設類型	県民利用施設	財産区分	普通財産
3	所管課	保健福祉部地域福祉課	運営形態	その他	防災施設等指定	非該当
4	都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
5	敷地面積	26,941.99 ㎡	建築面積	2,923.86 ㎡	延床面積	2,602.15 ㎡
6	竣工年度 (建築年月)	1990年9月	経過年数 (R7.4.1現在)	34 年	施設内棟数	7 棟
7	設置根拠	有	生活保護法		年間目標利用者数	
8	設置目的	身体上又は精神上の理由により、独立して生活を営むことのできない方へ生活の場を提供し、生活扶助を行う。				
9	施設の概況	昭和37年に県内最初の救護施設として開設。平成3年改築に伴い知的障害者施設「松風園」と併設。 昭和51年から社会福祉法人岩手県社会福祉事業団(昭和46年に県立社会福祉施設の受託運営を行うことを目的に、県の全額出資により設立された団体。以下「事業団」という。)に運営を委託していたが、平成18年に県から業務移管を受け運営。 土地及び建物・設備等は県が貸付しており、建物・設備等の改修や大規模修繕は県が行うこととしている。				
	類似施設	公共	有	松山荘	民間	無
10	未利用設備	無			大規模改修	無

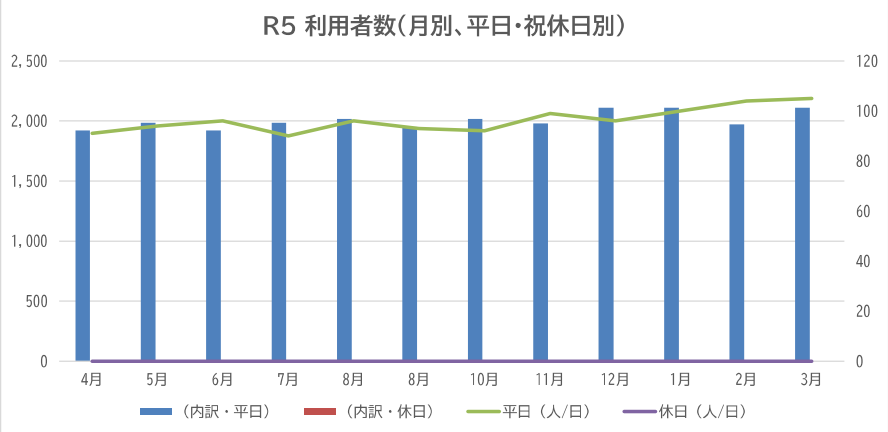
社会目的適合性 ※県民利用施設等のみ	①施設の設置目的	身体上又は精神上の理由により、独立して生活を営むことのできない方へ生活の場を提供し、生活扶助を行う。
	②建物が提供する機能	入所施設として、生活の場を提供し、生活扶助を行っている。
	③設置目的の適合性	生活保護法に基づく救護施設として、生活の場を提供し、生活扶助を行っており、設置目的に適合している。
	④施策上の必要性	入所者数は、現在と同程度で推移していくものと見込まれ、機能を維持していく必要がある。
	⑤建物の必要性	事業団に譲渡するまでの間、県において、一定規模の修繕、改修等を行いながら維持していく必要がある。
	⑥類似施設への代替可能性	県内には、沿岸にも救護施設が1施設あるが、各施設とも一定数の入所者を確保しており、今後の利用ニーズも見込まれることから、代替の可能性は低い。
	⑦今後の方向性	事業団への貸付期間中は、原則として、大規模改修や一定規模以上の修繕等は県が負担することとしており、譲渡するまでの間は、県において、施設の改修や修繕等を行っていく。 また、併せて、今後の施設譲渡も見据え、具体的な検討を行っていく。
	⑧利用者推移の分析	現在の利用状況等から、利用者数は現在と同程度で推移していくものと見込まれる。
	⑨設置目的の達成に向けたKGI	

12	主要棟	名称	好地荘棟			現況写真
13		構造	RC造	種目	事務所建	
14		階数	地上 1階	地下	-	
15		建築面積	1,954.95 ㎡	延床面積	1,727.88 ㎡	
16		建築年月日	1990年9月	法定耐用年数	50 年	
17		耐震診断	不要	耐震改修	不要	
18		その他特記事項				

2 利用状況

29	R5利用状況	開館日数	365 日			開館時間		24時間		年間利用者数		24,064 人	
		月別・利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
30			1,920	1,984	1,920	1,984	2,015	1,950	2,015	1,980	2,108	2,108	1,972	2,108
31		(内訳・平日)	1,920	1,984	1,920	1,984	2,015	1,950	2,015	1,980	2,108	2,108	1,972	2,108
32		(内訳・休日)												
33		利用者数内訳・団体	なし					利用者数内訳・個人		24,064 人				
		利用者数の推移(直近5年間)	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		増減率(R5/過去5年平均)	
34			24,974人		24,522人		24,885人		23,911人		23,789人		▲ 1.4%	
35		施設利用対象者マクロデータ ※県被生活保護人員	開設当時【A】(S37年6月時点)		32,841人		現 在【B】(R6年4月時点)		12,373人		増減率(マクロデータ)		▲ 62.3%	

36 令和5年度 施設利用者推移



3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
経常費用	11,470	100.0%	11,510	100.0%	11,550	100.0%
人件費	1,259	11.0%	1,299	11.3%	1,339	11.6%
物件費等		0.0%		0.0%		0.0%
維持修繕費		0.0%		0.0%		0.0%
減価償却費	10,211	89.0%	10,211	88.7%	10,211	88.4%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
28 支出合計	11,470	100.0%	11,510	100.0%	11,550	100.0%
経常収益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
使用料・手数料		-		-		-
その他		-		-		-
臨時利益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
資産売却益		-		-		-
その他		-		-		-
補助金等(間接的収入)	0	-	0	-	0	-
国庫補助金		-		-		-
その他		-		-		-
収入合計	0	-	0	-	0	-
年間コスト	▲ 11,470		▲ 11,510		▲ 11,550	

29	年間利用者数	23,911	人	23,789	人	24,064	人
30	延床面積当たりコスト	4,408	円/㎡	4,423	円/㎡	4,439	円/㎡
31	利用者1人当たりコスト	480	円/人	484	円/人	480	円/人
32	(参考)県民1人当たりコスト	10	円/人	10	円/人	10	円/人
33	有形固定資産減価償却率	66.0	%	67.8	%	69.6	%

(参考)岩手県の人口 (単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

34	番号:建物名称		好地荘棟				共用サービス棟					
35	構 造 / 種 目		RC造		住宅建		RC造		事務所建			
36	階 数		地上	1 階	地下	0 階	地上	1 階	地下	0 階	地上	地下
37	建築面積		1,954.95 ㎡				590.14 ㎡					
38	延床面積		1,727.88 ㎡				508.95 ㎡					
39	建築年月		1990年9月		耐用年数	47年	1990年9月		耐用年数	50年		耐用年数
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要			
41	その他特記事項											
42	主な建築・設備	建 築	屋根金属仕上、シート防水				屋根金属仕上					
			外壁コンクリート打放				外壁コンクリート打放					
		電気設備	屋内型・キュービクル式				屋内型・キュービクル式					
			自動火災報知(P形・副受信機)				自動火災報知(P形・副受信機)					
			拡声装置				拡声装置					
		機械設備	温水方式・局所暖房(冷房)方式				温水方式					
			真空式温水発生機				真空式温水発生機					
			パネルヒーター				パネルヒーター					
			三種換気(排気扇)				三種換気(排気扇)					
43	劣化度調査	建 築	敷地内に地盤沈下箇所が複数ある。				敷地内に地盤沈下箇所が複数ある。					
			屋根の劣化が著しい。				屋根の劣化が著しい。					
		電気設備										
		機械設備	真空式温水発生機の故障が頻発				真空式温水発生機の故障が頻発					
44	定期点検	建 築	建築設備定期点検(毎年) 建築物定期点検(3年毎)				建築設備定期点検(毎年) 建築物定期点検(3年毎)					
		電気設備	自家用電気工作物(2か月毎) 消防用設備点検(年2回)				自家用電気工作物(2か月毎) 消防用設備点検(年2回)					
		機械設備										
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築	施設改修等(2010)【192】									
		電気設備										
		機械設備	給湯配管改修(2015)【9】									

46	直近5年の維持修繕・改修費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫						0百万円
	県債				5百万円		5百万円
	一般財源	3百万円			5百万円		8百万円
	その他						0百万円
	計	3百万円	0百万円	0百万円	10百万円	0百万円	13百万円

5 施設評価

	1次評価(定量評価)	評価・分析結果
47		
48	ソフト(利用状況×経費効率)	現状維持
49	ソフト×ハード(建物性能)	現状維持

2次評価(定性評価)	評価結果
施策上の必要性	高
代替の可能性	低

6 今後の方向性(たたき台)

54	施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	売却・移管
		生活保護法に基づき県内2か所ある救護施設のうちのひとつとして、生活扶助が必要な方を受け入れる施設であり、憲法での「健康で文化的な最低限度の生活」を保障する施設として、必要性が認められる。 現在、運営は県社会福祉事業団が担っており、今後、施設自体の移管についても検討していく必要がある。 岩手県社会福祉事業団への貸付期間中は、原則として大規模改修は県が負担することとしており、譲渡するまでの間は、県で施設の修繕、改修等を行っていく。			

7 長寿命化等対策の方向性等

56	長寿命化等対策の方向性	岩手県社会福祉事業団への貸付期間中は、建物性能・劣化度などの老朽化の状況や利用状況などを総合的に勘案のうえ、計画的に長寿命化を実施する。 計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
57	主な維持修繕・改修の内容	真空式温水機交換工事					
58	概算費用(見込)	5 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	5 百万円
	国庫						0 百万円
	県債	4 百万円					4 百万円
	一般財源	1 百万円					1 百万円
	その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

（2）岩手県公共施設カルテの評価結果を踏まえた今後の保健福祉部の検討の方向性

岩手県社会福祉事業団への貸付期間中は、原則として大規模改修は県が負担することとしており、譲渡するまでの間は、県で施設の修繕、改修等を行っていく。

現在、運営は県社会福祉事業団が担っており、今後、施設自体の移管についても検討していく必要がある。

20 松山荘　　No. 20

(1)岩手県公共施設カルテ(個表:県民利用施設用)※個別施設計画策定指針による今後の方向性

1 施設概要

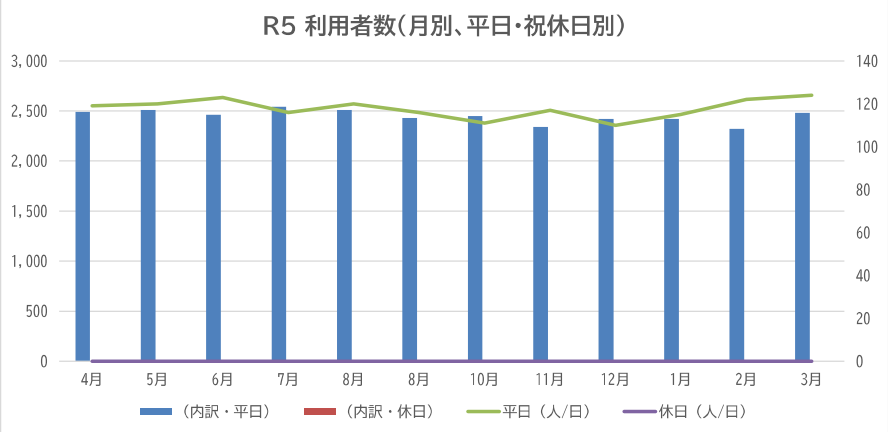
1	施設名称	松山荘	策定年月	令和3年3月	最終更新	令和7年12月
2	所在地	宮古市大字松山第8地割字下谷地19番1	施設類型	県民利用施設	財産区分	普通財産
3	所管課	保健福祉部地域福祉課	運営形態	その他	防災施設等指定	非該当
4	都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5	敷地面積	18,603.51 ㎡	建築面積	3,604.68 ㎡	延床面積	3,430.80 ㎡
6	竣工年度(建築年月)	2006年10月	経過年数(R7.4.1現在)	18 年	施設内棟数	5 棟
7	設置根拠	有　生活保護法			年間目標利用者数	
8	設置目的	身体上又は精神上の理由により、独立して生活を営むことのできない方へ生活の場を提供し、生活扶助を行う。				
9	施設の概況	昭和48年に救護施設として開設と同時に社会福祉法人岩手県社会福祉事業団(昭和46年に県立社会福祉施設の受託運営を行うことを目的に、県の全額出資により設立された団体。以下「事業団」という。)に運営を委託していたが、平成18年に県から業務移管を受け運営。 土地及び建物・設備等は県が貸付しており、建物・設備等の改修や大規模修繕は県が行うこととしている。				
	類似施設	公共　有　好地荘		民間　無		
10	未利用設備	無		大規模改修　無		

社会目的適合性 ※県民利用施設等のみ	①施設の設置目的	身体上又は精神上の理由により、独立して生活を営むことのできない方へ生活の場を提供し、生活扶助を行う。
	②建物が提供する機能	入所施設として、生活の場を提供し、生活扶助を行っている。
	③設置目的の適合性	生活保護法に基づく救護施設として、生活の場を提供し、生活扶助を行っており、設置目的に適合している。
	④施策上の必要性	入所者数は、現在と同程度で推移していくものと見込まれ、機能を維持していく必要がある。
	⑤建物の必要性	事業団に譲渡するまでの間、県において、一定規模の修繕、改修等を行いながら維持していく必要がある。
	⑥類似施設への代替可能性	県内には、内陸にも救護施設が1施設あるが、各施設とも一定数の入所者を確保しており、今後の利用ニーズも見込まれることから、代替の可能性は低い。
	⑦今後の方向性	事業団への貸付期間中は、原則として、大規模改修や一定規模以上の修繕等は県が負担することとしており、譲渡するまでの間は、県において、施設の改修や修繕等を行っていく。 また、併せて、今後の施設譲渡も見据え、具体的な検討を行っていく。
	⑧利用者推移の分析	現在の利用状況等から、利用者数は現在と同程度で推移していくものと見込まれる。
	⑨設置目的の達成に向けたKGI	

12	主要棟	名称	管理居住棟			現況写真
13		構造	RC造	種目	住宅建	
14		階数	地上　1階	地下	-	
15		建築面積	3,253.88 ㎡	延床面積	3,086.20 ㎡	
16		建築年月日	2006年10月	法定耐用年数	47 年	
17		耐震診断	不要	耐震改修	不要	
18		その他特記事項				

2 利用状況

29	R5利用状況	開館日数	365 日			開館時間		24時間		年間利用者数		29,369 人	
		月別・利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
30			2,490	2,511	2,460	2,542	2,511	2,430	2,449	2,340	2,418	2,418	2,320	2,480
31		(内訳・平日)	2,490	2,511	2,460	2,542	2,511	2,430	2,449	2,340	2,418	2,418	2,320	2,480
32		(内訳・休日)												
33		利用者数内訳・団体	なし					利用者数内訳・個人		29,369 人				
		利用者数の推移(直近5年間)	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		増減率(R5/過去5年平均)	
34			34,318人		33,643人		33,219人		32,603人		31,516人		▲ 11.2%	
35		施設利用対象者マクロデータ ※県被生活保護人員	開設当時【A】(S48年4月時点)		25,536人		現 在【B】(R6年4月時点)		12,373人		増減率(マクロデータ)		▲ 51.5%	
36	令和5年度施設利用者推移													



3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
経常費用	18,354	100.0%	17,560	100.0%	17,526	100.0%
人件費	1,259	6.9%	1,299	7.4%	1,339	7.6%
物件費等		0.0%		0.0%		0.0%
維持修繕費		0.0%		0.0%		0.0%
減価償却費	17,095	93.1%	16,261	92.6%	16,187	92.4%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
28 支出合計	18,354	100.0%	17,560	100.0%	17,526	100.0%
経常収益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
使用料・手数料		-		-		-
その他		-		-		-
臨時利益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
資産売却益		-		-		-
その他		-		-		-
補助金等(間接的収入)	0	-	0	-	0	-
国庫補助金		-		-		-
その他		-		-		-
収入合計	0	-	0	-	0	-
年間コスト	▲ 18,354		▲ 17,560		▲ 17,526	

29	年間利用者数	32,603	人	31,516	人	29,369	人
30	延床面積当たりコスト	5,350	円/㎡	5,118	円/㎡	5,108	円/㎡
31	利用者1人当たりコスト	563	円/人	557	円/人	597	円/人
32	(参考)県民1人当たりコスト	15	円/人	15	円/人	15	円/人
33	有形固定資産減価償却率	34.0	%	36.0	%	38.1	%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

		① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備
33	主な建築・設備	シート防水	屋外型・キュービクル式	温水方式・局所冷房方式(エアコン等)
		外壁コンクリート打放	自動火災報知(R形・副受信機)	ファンコンベクター・パネルヒーター
			拡声設備	三種換気(排気扇)
34	劣化度調査			
35	定期点検	建築設備定期点検(毎年)	自家用電気工作物(毎月)	
		建築物定期点検(3年毎)	消防用設備点検(年2回)	
36	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	段差解消(2013)【10】		スプリンクラー設置等(2010)【38】

47	直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫						0百万円
	県債						0百万円
	一般財源						0百万円
	その他						0百万円
	計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

5 施設評価

	1次評価(定量評価)	評価・分析結果
48	ソフト(利用状況×経費効率)	現状維持
49	ソフト×ハード(建物性能)	現状維持

2次評価(定性評価)	評価結果
施策上の必要性	高
代替の可能性	低

6 今後の方向性(たたき台)

50	施設の方向性	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	売却・移管

51 生活保護法に基づき県内2か所ある救護施設のうちのひとつとして、生活扶助が必要な方を受け入れる施設であり、憲法での「健康で文化的な最低限度の生活」を保障する施設として、必要性が認められる。
岩手県社会福祉事業団への貸付期間中は、原則として大規模改修は県が負担することとしており、譲渡するまでの間は、県で施設の修繕、改修等を行っていく。
現在、運営は県社会福祉事業団が担っており、今後、施設自体の移管についても検討していく必要がある。

7 長寿命化等対策の方向性等

52 長寿命化等対策の方向性

岩手県社会福祉事業団への貸付期間中は、建物性能・劣化度などの老朽化の状況や利用状況などを総合的に勘案のうえ、計画的に長寿命化を実施する。
計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。

53	主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計

54	概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
	国庫						0 百万円
	県債						0 百万円
	一般財源						0 百万円
	その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

（2）岩手県公共施設カルテの評価結果を踏まえた今後の保健福祉部の検討の方向性

岩手県社会福祉事業団への貸付期間中は、原則として大規模改修は県が負担することとしており、譲渡するまでの間は、県で施設の修繕、改修等を行っていく。

現在、運営は県社会福祉事業団が担っており、今後、施設自体の移管についても検討していく必要がある。

21 松寿荘　　No. 21

(1)岩手県公共施設カルテ(個表:庁舎等用)※個別施設計画策定指針による今後の方向性

1 施設概要

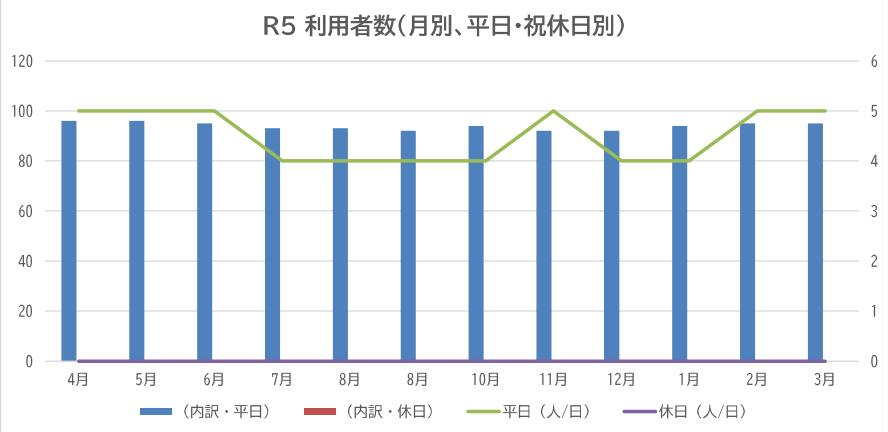
1	施設名称	松寿荘	策定年月	令和3年3月	最終更新	令和7年12月
2	所在地	雫石町第22地割字七ツ森16番37	施設類型	県民利用施設	財産区分	普通財産
3	所管課	保健福祉部長寿社会課	運営形態	その他	防災施設等指定	非該当
4	都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5	敷地面積	不明	建築面積	3,690.92 ㎡	延床面積	4,123.09 ㎡
6	竣工年度 (建築年月)	1972年2月	経過年数 (R7.4.1現在)	53 年	施設内棟数	5 棟
7	設置根拠	有　老人福祉法			年間目標利用者数	100 人
8	設置目的	老人福祉法に基づき、環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な老人等を入所させ、その者が自立した日常生活を営み、社会的活動に参加するために必要な指導及び訓練その他の援助を行うことを目的とする施設である。				
9	施設の概況	昭和26年に生活保護法上の養老施設として開設。昭和38年に老人福祉法の施行に伴い養護老人ホームに改称し、昭和47年に現在地に移転。昭和47年に社会福祉法人岩手県社会福祉事業団(昭和46年に県立社会福祉施設の受託運営を行うことを目的に、県の全額出資により設立された団体)に運営委託。平成18年からは「県立社会福祉施設改革プラン(H17.3策定)」に基づき、県立社会福祉施設の効率的な経営を図るため、一般公募により民間法人に運営移管している。土地及び建物については、無償貸付を行っているもの。 養護老人ホーム松寿荘 ・定員数 100人 ・入所者数 84人(R7.1.1現在)				
	類似施設	公共　有　市町が設置する養護老人ホーム(清寿荘、はなまき荘、養寿荘、葛葉荘)		民間	有	民営の養護老人ホーム
10	未利用設備	無		大規模改修	無	

社会目的適合性 ※県民利用施設等のみ	①施設の設置目的	老人福祉法に基づき、環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な老人等を入所させ、その者が自立した日常生活を営み、社会的活動に参加するために必要な指導及び訓練その他の援助を行うことを目的とする施設である。
	②建物が提供する機能	老人等を入所させ、生活指導及び機能訓練等を行っている。
	③設置目的の適合性	老人福祉法に基づいて設置している施設であり、目的に適合している。
	④施策上の必要性	県立社会福祉施設であった頃から広域的な入所や、困難ケースの受け入れを行っている一方で、入所者数は横ばいから緩やかな減少傾向にあるため、今後の松寿荘のあり方について改めて検討する必要がある。
	⑤建物の必要性	老人等を入所させる施設であるため建物は必要であるが、老朽化が進行しており、建物所有をはじめとする松寿荘のあり方について改めて検討する必要がある。
	⑥類似施設への代替可能性	定員に空きがある民営の養護老人ホーム等の類似施設があり、一部代替の可能性がある。
	⑦今後の方向性	施設サービスの必要性が比較的高い一方で、建物の老朽化が進行しており、建物所有をはじめとする松寿荘のあり方について改めて検討する必要がある。
	⑧利用者推移の分析	横ばいから緩やかな減少傾向で推移しており、今後も同様の傾向で推移していくことが見込まれる。
	⑨設置目的の達成に向けたKGI	養護老人ホーム松寿荘への入所者数 【目標値】100人(定員数) 【現状値】84人(R7.1.1現在)

12	主要棟	名称	松寿荘　本館			現況写真
13		構造	RC造	種目	事務所建	
14		階数	地上　2階	地下	-	
15		建築面積	2,905.03 ㎡	延床面積	3,307.09 ㎡	
16		建築年月日	1972年2月	法定耐用年数	50 年	
17		耐震診断	未	耐震改修	未	
18		その他特記事項				

2 利用状況

29	R5利用状況	開館日数	365日(入所施設)			開館時間		24時間		年間利用者数		1,127 人	
		月別・利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
30			96	96	95	93	93	92	94	92	92	94	95	95
31		(内訳・平日)	96	96	95	93	93	92	94	92	92	94	95	95
32		(内訳・休日)												
33		利用者数内訳・団体	なし					利用者数内訳・個人		入所施設のため全て個人				
		利用者数の推移(直近5年間)	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		増減率(R5/過去5年平均)	
34			1,164人		1,164人		1,164人		1,104人		1,176人		▲ 2.4%	
35		施設利用対象者マクロデータ ※岩手県内の65歳以上人口	開設当時【A】(S25年10月1日時点)		59,466人		現 在【B】(R6年10月1日時点)		402,129人		増減率(マクロデータ)		576.2%	
36	令和5年度施設利用者推移													



3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

	行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
	経常費用	10,606	100.0%	609	100.0%	311	100.0%
	人件費		0.0%		0.0%		0.0%
	物件費等	187	1.8%	484	79.5%	187	60.1%
	維持修繕費		0.0%		0.0%		0.0%
	減価償却費	10,419	98.2%	125	20.5%	124	39.9%
	支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
	臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
	その他		0.0%		0.0%		0.0%
28	支出合計	10,606	100.0%	609	100.0%	311	100.0%
	経常収益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
	使用料・手数料		-		-		-
	その他		-		-		-
	臨時利益(直接的収入)	0	-	0	-	0	-
	資産売却益		-		-		-
	その他		-		-		-
	補助金等(間接的収入)	0	-	0	-	0	-
	国庫補助金		-		-		-
	その他		-		-		-
	収入合計	0	-	0	-	0	-
	年間コスト	▲ 10,606		▲ 609		▲ 311	

29	年間利用者数	1,104	人	1,176	人	1,127	人
30	延床面積当たりコスト	2,572	円/㎡	148	円/㎡	75	円/㎡
31	利用者1人当たりコスト	9,607	円/人	518	円/人	276	円/人
32	(参考)県民1人当たりコスト	9	円/人	1	円/人	0	円/人
33	有形固定資産減価償却率	99.4	%	99.4	%	99.5	%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

34	番号:建物名称		本館				体育館					
35	構 造 / 種 目		RC造		事務所建		S造		事務所建			
36	階 数		地上	2 階	地下	-	地上	1 階	地下	-	地上	地下
37	建築面積		2,905.03 ㎡				368.10 ㎡					
38	延床面積		3,307.09 ㎡				368.10 ㎡					
39	建築年月		1972年2月		耐用年数	50年	1982年3月		耐用年数	38年		耐用年数
40	耐震診断 / 耐震改修		未		未		不要		不要			
41	その他特記事項											
42	主な建築・設備	建 築	屋根シート防水				金属屋根					
			外壁コンクリート打放				外壁金属板貼					
		電気設備	受変電キュービクル				一般型蛍光ランプ					
			屋内形ディーゼル発電設備									
			電話交換機設備									
		機械設備	蒸気方式冷暖房				非常放送設備					
			鋼製ボイラー									
			各種タンク類									
43	劣化度調査	建 築	アスファルトの剥がれ									
			マンホールの陥没									
			経年による傷み、汚れ 等									
		電気設備	照明・コンセント設備の経年劣化									
			屋外電気設備の腐食									
		機械設備	排水設備の経年劣化による水漏れ									
							50					
44	定期点検	建 築	外壁躯体の劣化、屋根塗装の劣化・発錆									
		電気設備	非常用照明点検用ひも切れ				非常用照明点検用ひも切れ					
		機械設備	配管内の発錆、詰まり									
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築	H22 外壁・トイレ・浴室等改修									
			H23 外壁クラック補修・塗装等									
			H29 集会室フローリング張替え									
		電気設備	R1 非常放送設備工事									
			R2 自動火災報知設備更新工事									
		機械設備	H21 機械設備改修				H22スプリンクラー設備増設					
			H24 地下貯油タンク改修									
			R1 高圧機器更新工事									

46	直近5年の維持修繕・改修費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫						0百万円
	県債						0百万円
	一般財源	3百万円					3百万円
	その他						0百万円
	計	3百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	3百万円

5 施設評価

	1次評価(定量評価)	評価・分析結果
47		
48	ソフト(利用状況×経費効率)	現状維持
49	ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(長寿命化)

2次評価(定性評価)	評価結果
施策上の必要性	高
代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

54	施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
		施設サービスの必要性が比較的高い一方で、建物の老朽化が進行しており、建物所有をはじめとする松寿荘のあり方について改めて検討する必要がある。			

7 長寿命化等対策の方向性等

56	長寿命化等対策の方向性	日常点検の頻度を高めて実施するなど、施設の劣化状況の把握に努め、適時適切な対応をする。					
		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
57	主な維持修繕・改修の内容	日常点検に基づく維持修繕					
58	概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
	国庫						0 百万円
	県債						0 百万円
	一般財源						0 百万円
	その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

（2）岩手県公共施設カルテの評価結果を踏まえた今後の保健福祉部の検討の方向性

岩手県公共施設カルテの評価結果においては、現状維持という結果であるが、令和７年４月１日現在で築53年経過していることから、利用者の安全性を確保するために、必要最低限の改修・補修工事について県が対応を行っていく一方で、今後の松寿荘のあり方について、周辺市町村や運営法人と共に検討していく必要がある。

22　医師等職員宿舎　　No.　22

(1)岩手県公共施設カルテ(個表:庁舎等用)※個別施設計画策定指針による今後の方向性

1　施設概要

1	施設名称	医師等職員宿舎(宿舎1号棟、宿舎2号棟)	策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
2	所在地	盛岡市仙北3丁目4番5	施設類型	庁舎等	財産区分	普通財産
3	所管課	保健福祉部医療政策室	運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
4	都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	第一種住居地域
5	敷地面積	850.66 ㎡	建築面積	402.84 ㎡	延床面積	728.60 ㎡
6	竣工年度(建築年月)	1993年5月	経過年数(R7.4.1現在)	31 年	施設内棟数	2 棟
7	設置根拠	無				
8	設置目的	医師等職員宿舎は、本県のリハビリテーション医療の中核的役割を担う「いわてリハビリテーションセンター」に勤務する医師、理学療法士、作業療法士等リハビリ専門職員の居住の用に供する世帯用宿舎として県が整備し、指定管理者である公益財団法人いわてリハビリテーションセンターに貸し付けているもの。				
9	施設の概況	医師等職員宿舎は、県の医療施策推進上必要なものとして、いわてリハビリテーションセンター職員の入居を目的に整備した施設であり、建設から30年が経過し、老朽化に伴い施設の細かな不具合は生じているものの、リハビリ専門職員の確保や救急患者への対応等において所期の目的を果たしている状況にある。				
	類似施設	公共　無		民間	有	民間アパート等
10	未利用設備	無		大規模改修	無	
10	使用許可等の有無	有				
11	備考(その他特記事項)					

12	主要棟	名称	宿舎1号棟、宿舎2号棟			現況写真
13		構造	RC造	種目	住宅建	
14		階数	地上　2階	地下	0階	
15		建築面積	402.84 ㎡	延床面積	728.60 ㎡	
16		建築年月日	1993年5月	法定耐用年数	47 年	
17		耐震診断	不要	耐震改修	不要	
18		その他特記事項				

2 利用状況

24	R5利用状況	入居戸数	7 戸		入居可能戸数	8 戸	
24		稼働率	87.5%		定員数		
		入居戸数の推移（直近5年間）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減率（R5/過去5年平均）
25			7戸	6戸	7戸	6戸	6戸	9.4%
26		施設利用対象者マクロデータ ※リハセン職員数	開設当時【A】（H5年時点）	75人	現　在【B】（R6年4月時点）	175人	増減率（マクロデータ）	1.3

3 維持・管理費の状況（改修、大規模修繕などに含まれるものは除く）

（単位：千円）

	行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
	経常費用	3,807	100.0%	3,807	100.0%	3,774	100.0%
	人件費		0.0%		0.0%		0.0%
	物件費等		0.0%		0.0%		0.0%
	維持修繕費		0.0%		0.0%		0.0%
	減価償却費	3,807	100.0%	3,807	100.0%	3,774	100.0%
	支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
	臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
	その他		0.0%		0.0%		0.0%
28	支出合計	3,807	100.0%	3,807	100.0%	3,774	100.0%
	経常収益（直接的収入）	0	-	0	-	0	-
	使用料・手数料		-		-		-
	その他		-		-		-
	臨時利益（直接的収入）	0	-	0	-	0	-
	資産売却益		-		-		-
	その他		-		-		-
	補助金等（間接的収入）	0	-	0	-	0	-
	国庫補助金		-		-		-
	その他		-		-		-
	収入合計	0	-	0	-	0	-
	年間コスト	▲ 3,807		▲ 3,807		▲ 3,774	

29	入居戸数	6	戸	6	戸	7	戸
30	1戸当たりコスト	634,500	円/戸	634,500	円/戸	539,143	円/戸
31	（参考）県民1人当たりコスト	3	円/人	3	円/人	3	円/人
32	有形固定資産減価償却率	68.2	%	70.1	%	72.1	%

（参考）岩手県の人口

（単位：人）

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 施設内建物の概要

34	番号:建物名称		宿舎1号棟				宿舎2号棟					
35	構 造 / 種 目		RC造		住宅建		RC造		住宅建			
36	階 数		地上	2 階	地下	0 階	地上	2 階	地下	0 階	地上	地下
37	建築面積		201.42 ㎡				201.42 ㎡					
38	延床面積		364.30 ㎡				364.30 ㎡					
39	建築年月		1993年5月		耐用年数	47年	1993年5月		耐用年数	47年		耐用年数 125年
40	耐震診断 / 耐震改修		不要		不要		不要		不要			
41	その他特記事項											
42	主な建築・設備	建 築	屋根金属				屋根金属					
			外壁コンクリート打放(+吹付)				外壁コンクリート打放(+吹付)					
		電気設備	電灯設備(省エネ型、電池内蔵型)				電灯設備(省エネ型、電池内蔵型)					
			テレビ共同受信設備				テレビ共同受信設備					
		機械設備	局所冷房方式				局所冷房方式					
			三種換気・一種換気				三種換気・一種換気					
			水道直結方式・公共水道				水道直結方式・公共水道					
			公共下水道				公共下水道					
			ガス湯沸器				ガス湯沸器					
			粉末消火				粉末消火					
43	劣化度調査	建 築	実施無し				実施無し					
		電気設備	実施無し				実施無し					
		機械設備	実施無し				実施無し					
44	定期点検	建 築	【R6日常点検】 外構等:舗装に一部損傷 屋上・屋根:亀裂、シーリング材劣化、縦樋損傷 外壁:亀裂、浮き、白華、腐食、シーリング材劣化等 外部建具:シーリング材劣化、窓枠亀裂・剥離、腐食 建物内部:黒カビ、雨漏り痕跡等				【R6日常点検】 外構等:舗装に一部損傷 屋上・屋根:亀裂、シーリング材劣化、縦樋損傷 外壁:亀裂、浮き、白華、腐食、シーリング材劣化等 外部建具:シーリング材劣化、窓枠亀裂・剥離、腐食 建物内部:黒カビ、雨漏り痕跡等					
		電気設備	【R6日常点検】 コンセント設備:冬季に結露 屋外電気設備:外灯腐食				【R6日常点検】 コンセント設備:冬季に結露 屋外電気設備:外灯腐食					
		機械設備	【R6日常点検】 排水設備:排水不良 暖房・空調・換気設備:腐食				【R6日常点検】 給水設備:水漏れ 排水設備:排水不良 暖房・空調・換気設備:腐食					
45	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	建 築	実施無し				実施無し					
		電気設備	実施無し				実施無し					
		機械設備	実施無し				実施無し					
46	直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	合計
	国庫											0百万円
	県債											0百万円
	一般財源											0百万円
	その他											0百万円
	計		0百万円		0百万円		0百万円		0百万円		0百万円	0百万円

5 施設評価

	1次評価(定量評価)	評価・分析結果
47		
48	ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)
49	ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(長寿命化)

2次評価(定性評価)	評価結果
施策上の必要性	高
代替の可能性	高

6 今後の方向性(たたき台)

54	施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	長寿命化改修
		医師等職員宿舎は、県の医療施策推進上必要なものとして、いわてリハビリテーションセンター職員の入居を目的に整備した施設であり、建設から30年が経過し、老朽化に伴い施設の細かな不具合は生じているものの、リハビリ専門職員の確保や救急患者への対応等において所期の目的を果たしている状況にあることから、建物性能、劣化度など老朽化の状況や利用状況などを考慮しながら、計画的な改修を行う。		

7 長寿命化等対策の方向性等

56	長寿命化等対策の方向性	・建物性能、劣化度など老朽化の状況や利用状況などを総合的に勘案しつつ、今後とも県が保有し行政サービスを提供することが適当であることから、計画的に長寿命化を実施する。 ・計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減、財政負担の平準化に取り組む。					
		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
57	主な維持修繕・改修の内容		日常点検に基づく維持修繕(屋上・屋根等修繕)	日常点検に基づく維持修繕(外壁等修繕)	日常点検に基づく維持修繕(空調機器等修繕)	日常点検に基づく維持修繕(自動火災報知設備等修繕)	
58	概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
	国庫						0 百万円
	県債						0 百万円
	一般財源						0 百万円
	その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

（2）岩手県公共施設カルテの評価結果を踏まえた今後の保健福祉部の検討の方向性

岩手県公共施設カルテの評価結果においては、現状維持という結果であり、現に医療機関の医師等が利用していることから、第２期岩手県公共施設等総合計画期間中においては、利用者の安全性を確保するために、建物の根幹をなす必要最低限の改修・補修工事について県が対応を行っていく。

23 旧岩手県立衛生学院　　No. 23

(1)岩手県公共施設カルテ(個表:県民利用施設用)※総務部指標による今後の方向性

1 施設概要

1	施設名称	旧岩手県立衛生学院	策定年月	令和3年3月	最終更新	令和7年12月
2	所在地	盛岡市上ノ橋町43番1	施設類型	県民利用施設	財産区分	普通財産
3	所管課	保健福祉部保健福祉企画室	運営形態	その他	防災施設等指定	非該当
4	都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	第一種住居地域
5	敷地面積	2,718.91 ㎡	建築面積	814.86 ㎡	延床面積	3,510.94 ㎡
6	竣工年度(建築年月)	1970年1月	経過年数(R7.4.1現在)	55 年	施設内棟数	4 棟
7	設置根拠	無			年間目標利用者数	
8	設置目的	旧岩手県立衛生学院は、衛生関係専門職の人材を養成し、県民の健康増進及び公衆衛生の向上を図るため、保健学科、助産学科、看護学科及び歯科衛生学科を設置し、1970年4月に開学したもの。				
9	施設の概況	2004年4月に、当時唯一設置していた歯科衛生学科を岩手医科大学に運営移管したことに伴い、旧岩手県立衛生学院の土地・建物等を岩手医科大学医療専門学校に無償で貸し付けている。				
	類似施設	公共	無		民間	有	MCL盛岡医療大学校
10	未利用設備	無		大規模改修	無	

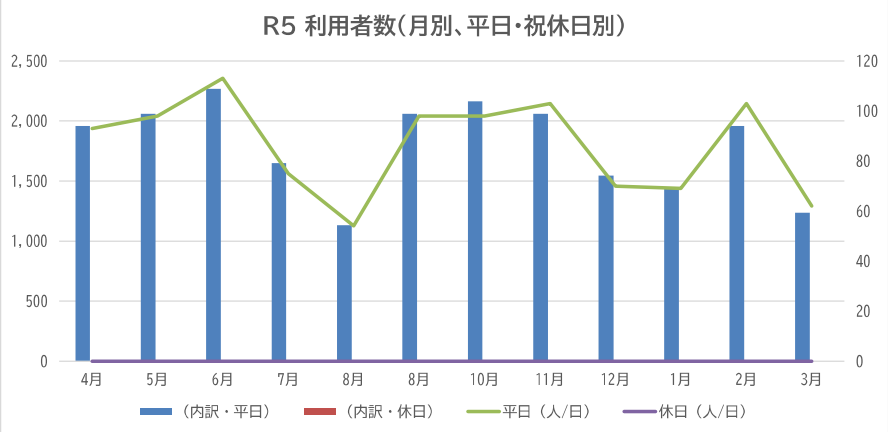
社会目的適合性 ※県民利用施設等のみ	①施設の設置目的	旧岩手県立衛生学院は、衛生関係専門職の人材を養成し、県民の健康増進及び公衆衛生の向上を図るため、保健学科、助産学科、看護学科及び歯科衛生学科を設置し、1970年4月に開学したもの。
	②建物が提供する機能	旧岩手県立衛生学院は、保健師、助産師、看護師及び歯科衛生士の養成機関として設置していたものであるが、2004年4月から岩手医科大学に歯科衛生士を養成する医療専門学校として無償で貸し付けている。
	③設置目的の適合性	岩手医科大学に歯科衛生士を養成する医療専門学校として無償で貸し付けているものであるが、旧岩手県立衛生学院開校当時から歯科衛生士の養成を行っていたことから、現在も設置目的は大きく異ならないもの。
	④施策上の必要性	岩手医科大学に歯科衛生士を養成する医療専門学校として貸し付ける場合においても、県民の健康増進及び公衆衛生の向上に資する歯科医療関係人材の育成・確保につながることから必要性が認められる。
	⑤建物の必要性	今後、県直営で当該建物を使用する見込みは少なく、岩手医科大学が使用しなくなった場合は用途廃止することが考えられ、県として建物の必要性は認められない。
	⑥類似施設への代替可能性	岩手医科大学の意向を踏まえ、県所有以外を含む他の建物に医療専門学校を移転することなどが今後の選択肢の一つとして考えられる。
	⑦今後の方向性	岩手医科大学に建物等を貸し付けている間は、現に岩手医科大学医療専門学校の学生等が利用していることから、利用者の安全性を確保するため、建物の根幹をなす必要最低限の改修・補修工事については県が対応する必要があるが、今後、県として使用する可能性が低いことに加え、築54年が経過し老朽化が進行しており、長期的な使用を見据えた抜本的な長寿命化対策を行うこととした場合、多額の予算を要することが見込まれることから、岩手医科大学との間で移転等に向けた調整を行い、将来的には用途廃止を目指す。 なお、対策費について、県として建物を所有する必要性は低く、現時点においては安全性を考慮して緊急的に対策を講じる時期は未定であるもの。
	⑧利用者推移の分析	岩手医科大学医療専門学校における学生数は、近年、100人前後で推移している。
	⑨設置目的の達成に向けたKGI	現在の建物の利用者は岩手医科大学医療専門学校の学生や職員などであり、利用者数等について県が目標設定することは適当でないもの。

12	主要棟	名称	校舎			現況写真
13		構造	RC造	種目	事務所建	
14		階数	地上 4階	地下	0階	
15		建築面積	794.06 ㎡	延床面積	3,490.14 ㎡	
16		建築年月日	1970年1月	法定耐用年数	50 年	
17		耐震診断	未	耐震改修	未	
18		その他特記事項	令和3年度　外壁改修ほか工事			

2 利用状況

29	R5利用状況	開館日数	209 日			開館時間		8:30～17:00		年間利用者数		21,527 人	
		月別・利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
30			1,957	2,060	2,266	1,648	1,133	2,060	2,163	2,060	1,545	1,442	1,957	1,236
31		（内訳・平日）	1,957	2,060	2,266	1,648	1,133	2,060	2,163	2,060	1,545	1,442	1,957	1,236
32		（内訳・休日）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33		利用者数内訳・団体	0 人					利用者数内訳・個人		21,527 人				
		利用者数の推移（直近5年間）	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		増減率（R5/過去5年平均）	
34			24,871人		22,781人		21,527人		22,990人		23,199人		▲ 6.7%	
35		施設利用対象者マクロデータ ※県内高等学校在学者数	開設当時【A】（S45年4月時点）		64,596人		現　在【B】（R6年4月時点）		28,253人		増減率（マクロデータ）		▲ 56.3%	

36 令和5年度 施設利用者推移



3 維持・管理費の状況（改修、大規模修繕などに含まれるものは除く）

（単位：千円）

行政コスト計算書	令和3年度	構成比	令和4年度	構成比	令和5年度	構成比
経常費用	41,711	100.0%	506	100.0%	561	100.0%
人件費		0.0%		0.0%		0.0%
物件費等		0.0%		0.0%		0.0%
維持修繕費	41,218	98.8%		0.0%	55	9.8%
減価償却費	493	1.2%	506	100.0%	506	90.2%
支払利息		0.0%		0.0%		0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費		0.0%		0.0%		0.0%
その他		0.0%		0.0%		0.0%
28 **支出合計**	41,711	100.0%	506	100.0%	561	100.0%
経常収益（直接的収入）	0	－	0	－	0	－
使用料・手数料		－		－		－
その他		－		－		－
臨時利益（直接的収入）	0	－	0	－	0	－
資産売却益		－		－		－
その他		－		－		－
補助金等（間接的収入）	0	－	0	－	0	－
国庫補助金		－		－		－
その他		－		－		－
収入合計	0	－	0	－	0	－
年間コスト	▲ 41,711		▲ 506		▲ 561	

29	年間利用者数	22,990	人	23,199	人	21,527	人
30	延床面積当たりコスト	11,880	円/㎡	144	円/㎡	160	円/㎡
31	利用者1人当たりコスト	1,814	円/人	22	円/人	26	円/人
32	（参考）県民1人当たりコスト	35	円/人	0	円/人	0	円/人
33	有形固定資産減価償却率	95.6	%	95.7	%	95.8	%

（参考）岩手県の人口

（単位：人）

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

4 建物の概要

		① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備
33	主な建築・設備	屋根シート防水	受変電キュービクル	局所冷暖房方式
		外壁コンクリート打放、タイル貼	省エネ形電灯	空調機パッケージ型
		ビニル床タイル類	自動火災報知設備(P型)	三種換気
		壁コンクリート打放	電気時計・拡声設備	ステンレス製給水タンク
		天井石こうボード	映像・音響装置	都市ガス
			テレビ共同受信設備	屋内消火栓
34	劣化度調査	経年劣化による機能低下が進行しており、中長期的に使用するための安全性が担保されていない状況	経年劣化による機能低下が進行しており、中長期的に使用するための安全性が担保されていない状況	経年劣化による機能低下が進行しており、中長期的に使用するための安全性が担保されていない状況
35	定期点検	内壁の亀裂	避雷針の損傷	
		屋上排水溝詰まりによる天井からの漏水		
		開閉できないドアあり		
36	改修・大規模修繕等工事履歴【百万円】	外壁改修ほか工事(2021)【40】		

47	直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
	国庫						0百万円
	県債						0百万円
	一般財源		40百万円				40百万円
	その他						0百万円
	計	0百万円	40百万円	0百万円	0百万円	0百万円	40百万円

5 施設評価

	1次評価(定量評価)	評価・分析結果
48	ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)
49	ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(長寿命化)

2次評価(定性評価)	評価結果
施策上の必要性	高
代替の可能性	低

6 今後の方向性(たたき台)

		機能の方向性	廃止	建物の方向性	解体
50	施設の方向性	岩手医科大学に建物等を貸し付けている間は、現に岩手医科大学医療専門学校の学生等が利用していることから、利用者の安全性を確保するため、建物の根幹をなす必要最低限の改修・補修工事については県が対応する必要があるが、今後、県として使用する可能性が低いことに加え、築54年が経過し老朽化が進行しており、長期的な使用を見据えた抜本的な長寿命化対策を行うこととした場合、多額の予算を要することが見込まれることから、今後、岩手医科大学との間で調整を行う。 なお、対策費について、県として建物を所有する必要性は低く、現時点においては安全性を考慮して緊急的に対策を講じる時期は未定であるもの。			
51					

7 長寿命化等対策の方向性等

52	長寿命化等対策の方向性	岩手医科大学に建物等を貸し付けている間は、現に岩手医科大学医療専門学校の学生等が利用していることから、利用者の安全性を確保するため、建物の根幹をなす必要最低限の改修・補修工事については、岩手医科大学との覚書に基づき、引き続き必要に応じて県が実施する必要があるが、現時点においては当面の長寿命化対策の具体的な内容は未定であるもの。

53	主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計

54	概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
	国庫						0 百万円
	県債						0 百万円
	一般財源						0 百万円
	その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

（2）岩手県公共施設カルテの評価結果を踏まえた今後の保健福祉部の検討の方向性

岩手県公共施設カルテの評価結果においては、廃止及び解体という結果であるが、現に岩手医科大学医療専門学校の学生等が利用していることから、第２期岩手県公共施設等総合計画期間中においては、利用者の安全性を確保するために、建物の根幹をなす必要最低限の改修・補修工事について県が対応を行っていく一方で、令和７年４月１日現在で築55年経過していることから建物の安全性を含め岩手医科大学と協議調整を行いながら移転等について検討していく。